

SYLLABUS

平成 26 (2014) 年度

■ 保健科学部 検査技術学科 ■

検査技術学科 教育課程

【平成26年度】

区分	授業科目		単位数		年間コマ数	履修方法及び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		担当者	単位認定者
			必修	選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目群	生命倫理と心理	1	心理学		2	15		15							榎本 光邦	榎本 光邦
		2	生命倫理	2		15		15							吉田 幸恵 他	吉田 幸恵
		3	教育学		2	15	15								高野 利雄	高野 利雄
		4	教育情報論		2	15		15							西谷 泉	西谷 泉
		5	教育心理学		2	15		15							原 芳典	原 芳典
	言語と文化	6	英語Ⅰ	1		15	15								杉田 雅子	杉田 雅子
		7	英語Ⅱ	1		15		15							杉田 雅子	杉田 雅子
		8	英語表現		1	15		15							杉田 雅子	杉田 雅子
		9	ステップアップ英語Ⅰ		1	15			15						柴山森二郎	柴山森二郎
		10	ステップアップ英語Ⅱ		1	15				15					柴山森二郎	柴山森二郎
			英文講読Ⅰ	1		15					15				杉田 雅子	杉田 雅子
			英文講読Ⅱ		1	15						15			杉田 雅子	杉田 雅子
	社会と生活	11	中国語		1	15	15								深町 悦子	深町 悦子
		12	コリア語		1	15	15								青木 順	青木 順
		13	家族学		1	15	15								坂本 祐子	坂本 祐子
		14	情報処理		1	15	15								西谷 泉	西谷 泉
		15	法学（日本国憲法含む）		2	15		15							斎藤 周	斎藤 周
		16	環境学		2	15		15							西菌 大実	西菌 大実
		17	ジェンダー論		2	15		15							坂本 祐子	坂本 祐子
		18	地域社会学		2	15		15							坂本 祐子	坂本 祐子
		19	ボランティア活動論		1	15	15								竹澤 泰子 他	竹澤 泰子
		20	経済学		2	15		15							飯島 正義	飯島 正義
	基礎教育	21	健康スポーツ理論		2	15		15							衣川 隆	衣川 隆
		22	健康スポーツ実技		1	15	15								衣川 隆	衣川 隆
		23	大学の学び入門	1		15	15								杉田雅子・榎本光邦	杉田 雅子
		24	教養ゼミナール	1		15	15								藤田 清貴 他	藤田 清貴
		25	生物学基礎	1		15	15								佐藤久美子	佐藤久美子
		26	数学基礎	1		7.5	7.5								栗田 昌裕	栗田 昌裕
27		化学基礎	1		7.5	7.5								西菌 大実	西菌 大実	
28		英語基礎	1		7.5	7.5								柴山森二郎	柴山森二郎	
計（卒業要件）						23										
専門基礎科目群	人体の構造と機能	29	解剖学Ⅰ	2		30	30								浅見知市郎	浅見知市郎
		30	解剖学Ⅱ	1		7.5		7.5							浅見知市郎	浅見知市郎
		31	解剖学実習	1		22.5			15	7.5					小林寛・浅見知市郎	小林 寛
		32	生理学Ⅰ	1		15	15								洞口 貴弘	洞口 貴弘
		33	生理学Ⅱ	1		15		15							洞口 貴弘	洞口 貴弘
		34	生理学実習	1		22.5			22.5						洞口 貴弘	洞口 貴弘
		35	生化学	1		15	15								亀子 光明	亀子 光明
	健康と医療と社会	36	医学概論	2		15	15								古田島 伸雄	古田島 伸雄
		37	チーム医療論	1		15			15						藤田 清貴 他	藤田 清貴
		38	病理学	1		15		15							廣井 禎之	廣井 禎之
		39	薬理学	1		15			15						栗田 昌裕	栗田 昌裕
		40	公衆衛生学	1		7.5		7.5							石館 敬三	石館 敬三
		41	臨床医学特殊講義		1	15				15					正田純史・下村洋之助	正田 純史
		42	内科学		1	15				15					門傳 剛	門傳 剛
		43	老年医学		1	7.5					7.5				栗田 昌裕	栗田 昌裕
		44	遺伝と病気	2		15		15							川口 竜二	川口 竜二
		45	免疫学	1		15		15							藤田 清貴	藤田 清貴
		46	カウンセリング		1	15				15					森 慶輔	森 慶輔
		47	リハビリテーション概論		1	15	15								松澤 正	松澤 正
		48	臨床心理学		1	15		15							森 慶輔	森 慶輔
			安全管理		1	15						15			酒井美絵子	酒井美絵子
			生体計測工学		1	15					15				目黒 力	目黒 力
		49	国際医療協力論		1	15	15								辻村 弘美	辻村 弘美
		50	医療統計学		1	15				15					木村 朗	木村 朗
51	社会福祉・地域サービス論		1	15					15				金谷 春代	金谷 春代		
計（卒業要件）						22										

区分	授業科目	単位数		年間コマ数	履修方法及び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		担当者	単位認定者	
		必修	選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門科目群	解析検査学 臨床病態 解析検査学			臨床検査解析学 (Reversed CPC) I	1		15				15			藤田・小河原・櫻林・本田・山田	藤田 清貴	
				臨床検査解析学 (Reversed CPC) II	1		15				15			藤田・小河原・櫻林・本田・山田	藤田 清貴	
				電気泳動分析病態解析学		2	15					15			藤田・川口・石垣・平野・田中	藤田 清貴
				検査異常値と発生機序	2		15					15			藤田・小河原・亀子・櫻林	藤田 清貴
	生体機能検査学	52			生理機能検査学	2		30		15	15				古田島伸雄	古田島伸雄
					生理機能検査学実習	2		45				45			古田島伸雄・林由里子	古田島伸雄
					画像解析検査学	2		15				15			古田島伸雄	古田島伸雄
					画像解析検査学実習	2		45				45			古田島伸雄・林由里子	古田島伸雄
		53			医用電子工学	1		15			15				川口 竜二	川口 竜二
		54			医用電子工学実習	1		22.5			22.5				川口 竜二	川口 竜二
	検査総合管理学	55			臨床検査学総論	2		30		15	15				高橋 克典	高橋 克典
		56			臨床検査学総論実習	2		45			45				高橋 克典	高橋 克典
					関係法規	1		15				15			高橋 克典・林由里子	高橋 克典
		57			精度管理学		1	15			15				亀子 光明	亀子 光明
					医療システムとマネジメント		1	15				15			川口竜二・亀子光明	川口 竜二
					情報科学概論	2		15				15			古田島伸雄	古田島伸雄
					臨床検査学総合演習 I	3		45				45			藤田・小河原・亀子・川口・古田島・高橋(克)・白土・石垣・林・田中	藤田 清貴
					臨床検査学総合演習 II	4		60				60			藤田・小河原・亀子・川口・古田島・高橋(克)・白土・石垣・林・田中	藤田 清貴
	病因・生体防御検査学	58			免疫検査学	2		30		15	15				藤田 清貴	藤田 清貴
					免疫検査技術学実習	2		45			45				藤田 清貴	藤田 清貴
					分離分析技術学特論		2	15				15			石垣宏尚・田中寿幸	石垣 宏尚
					輸血検査学	1		15				15			高橋克典・林由里子	高橋 克典
		59			微生物検査学	2		30		15	15				白土 佳子	白土 佳子
					微生物検査学実習	2		45				45			白土 佳子	白土 佳子
					ウイルス検査学		1	15				15			白土 佳子	白土 佳子
	生物化学分析検査学	60			機器分析化学	2		15	15						石垣 宏尚	石垣 宏尚
		61			臨床化学検査学	2		30		15	15				亀子 光明	亀子 光明
					臨床化学検査学実習	2		45			45				亀子 光明	亀子 光明
					健康食品学		2	15				15			亀子 光明	亀子 光明
					食品衛生学		2	15				15			亀子 光明	亀子 光明
				遺伝子検査学	2		15				15			川口 竜二	川口 竜二	
				遺伝子検査学実習	2		45				45			川口 竜二	川口 竜二	
				遺伝子工学		1	15				15			川口 竜二	川口 竜二	
				RI検査学	1		15				15			高橋 克典	高橋 克典	
				RI検査学実習	1		22.5				22.5			高橋 克典	高橋 克典	
形態・病態検査学	62			血液検査学	2		30		15	15				小河原はつ江	小河原はつ江	
				血液検査学実習	2		45			45				小河原はつ江	小河原はつ江	
	63			病理細胞検査学	2		30		15	15				廣井 禎之	廣井 禎之	
				病理細胞検査学実習	2		45			45				廣井 禎之	廣井 禎之	
	64			医動物学	2		15	15						佐藤 友香	佐藤 友香	
	65			医動物学実習	1		22.5		22.5					佐藤 友香	佐藤 友香	
	66			生殖医療技術学		1	15			15				荒木 康久	荒木 康久	
臨地実習			臨地実習	7		8W					8W		小河原・亀子・高橋・石垣	小河原はつ江		
			卒業研究	8		120					60	60	藤田・小河原・亀子・川口・古田島・白土・高橋(克)	藤田 清貴		
計 (卒業要件)							82									
卒業要件 (最低) 単位数							127									

必修科目 7.5 単位 + 選択科目 から 7 単位以上

授 業 科 目 名	心 理 学	単 位 認 定 者	榎 本 光 邦
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義・演習(講義内にて)	オ フィ ス ・ ア ロ ー	月・水・金の昼休み(305 研究室)
科 目 の 目 的	心理学の各領域に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に生かす。		
関 連 科 目	【教養科目群】生命倫理, 教育学, 教育心理学, 家族学, ジェンダー論, 地域社会学, 健康スポーツ理論, 大学の学び入門 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ, 生理学Ⅱ, 医学概論, 公衆衛生学, 臨床心理学, カウンセリング, チーム医療論, 老年医学, 薬理学, 臨床医学特殊講義, 医療統計学, 社会福祉・地域サービス論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(80%)に受講時の意見文・感想文やレポート課題等平常点(20%)を加味して評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	心理学の歴史と方法	心理学の領域, 心理学史	
2	脳と心理学	脳の構造, 脳の働き, 高次脳機能障害	
3	心の発達	発達の諸側面, 子どもの発達, 生涯発達心理学	
4	感覚と知覚	感覚, 知覚的な体制化, 奥行き知覚と知覚の恒常性, 錯覚, 運動の知覚	
5	学習	レスポナント条件づけ, オペラント条件づけ	
6	記憶と思考	記憶のしくみ, 記憶の二重貯蔵モデル	
7	動機づけと情動	動機づけと欲求, 感情・情動, 表出行動とコミュニケーション	
8	性格	類型論, 特性論, 性格検査の信頼性と妥当性	
9	対人関係と集団	対人認知, 対人感情, 関係の維持	
10	発達障害について	自閉症スペクトラム障害, AD/HD, LD の特徴と支援について	
11	臨床心理学 1	精神分析(フロイト)	
12	臨床心理学 2	分析心理学(ユング)	
13	臨床心理学 3	来談者中心療法(ロジャース)	
14	臨床心理学 4	コラージュ療法の体験	
15	臨床心理学 5	コラージュ療法の理論	

教 科 書	山祐嗣・山口素子・小林知博編著(2009)「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房
参 考 書	講義中に随時紹介する

授 業 科 目 名	生 命 倫 理	単 位 認 定 者	吉 田 幸 恵
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義・グループワーク・発表	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	生命倫理・医療倫理の概要を、できるだけわかりやすくお話ししたいと思います。講義形式だけではなく、映像資料を適宜参照したり、ワークショップやグループワークなどを実施したりします。		
学 習 到 達 目 標	医療者は時に「医療者視点」が絶対的であるという思い込みに陥りがちになります。医療の主役はあくまで患者さんやその家族です。この授業を通して「医療は誰のものか」ということを改めて考えることができるようになることを目指します。		
関 連 科 目	公衆衛生学、免疫・感染症学、緩和医療学など。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業後に実施するミニレポートの提出・出席(30%)、グループワークでの発表(30%)、期末レポート(40%)などによる総合評価。		
準 備 学 習 の 内 容	授業の前後において、可能な範囲で、教科書や参考書の該当箇所に目を通してください。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	授業のイントロダクション、「生命倫理」の誕生1	授業全体の予定や授業の進め方などの説明、生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷	IV章 臨床化学 17 遺伝子 F 倫理
2	「生命倫理」の誕生2	生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷(続き)	
3	戦争と生命倫理	戦争と倫理の問題について(日本とナチスドイツを中心に)	
4	「病い」を生きる	ハンセン病史における倫理的問題	
5	被験者になるということ	医学研究におけるインフォームド・コンセント	
6	臓器移植をめぐる諸問題	臓器移植の歴史、臓器移植と法	
7	出生前診断と生殖技術	中絶・生殖技術を巡る立場と問題、様々な生殖技術	
8	里子、非嫡出子	子どもの「生きる権利」について考える	
9	安楽死／尊厳死	安楽死／尊厳死とは？安楽死を巡る日本の状況について	
10	再生医療	ES細胞やiPS細胞を用いた医療はどこまで／どのように可能か	
11	前半のまとめ	講義前半のまとめと復習(担当／武藤香織)	
12	グループワーク	テーマを受講生から募り、グループワーク	
13	プレゼンテーション	グループワーク結果の発表	
14	医療の役割	医療の論理、医学の進歩と医学研究のこれから	
15	まとめ	授業全体のまとめ、期末レポート相談	

教 科 書	『はじめて出会う生命倫理』玉井真理子、大谷いづみ(編)、有斐閣(2011年)、1900円。
参 考 書	『バイオエシックス入門——生命倫理入門』今井道夫、香川知晶(編)、東信堂(第3版:2001年)

授 業 科 目 名	教 育 学	単 位 認 定 者	高 野 利 雄
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義、演習、討論	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	教育活動についての学びを通して、看護・医療の対人援助職に必要な教育者の素養を身につける。		
学 習 到 達 目 標	教育の役割を理解し、対人援助職を目指す自らのありようを述べられること。		
関 連 科 目	心理学、教育心理学、教育情報論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験(60%)、随時の提出物と授業への取り組み(40%)		
準 備 学 習 の 内 容	必要に応じて指示する。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	人間の活動としての教育	教育とは何か。人間は教育によって何を達成しようとしているのか。	
2	学習権という人権	義務教育、教育の機会均等、子どもの権利条約。	
3	教育活動の時と場	人間の成長と発達課題。家庭・学校・社会での教育と学習	
4	家庭教育と社会教育	家庭教育と社会教育の実状。子育て支援。	
5	学校教育の柱と方法	教科指導と生活指導。指導と援助。	
6	指導と評価	指導法と評価法。学習の動機づけ。	
7	教育思想①	西洋の教育をたどる。	
8	教育思想②	日本の教育をたどる。	
9	公立学校と私立学校	教育基本法。建学の精神。	
10	学校教育現場の諸問題	いじめ、不登校、学級崩壊。	
11	教育の土台となる信頼関係	良好なコミュニケーション。ゴードン・メソッド。	
12	援助の教育	学校保健、スクールカウンセリング、スクールソーシャルワーク	
13	児童生徒理解	生徒指導と教育相談	
14	障害児教育	特別支援教育の考え方と実状	
15	まとめ		

教 科 書	使用しない
参 考 書	講義時に紹介する

授 業 科 目 名	教 育 情 報 論	単 位 認 定 者	西 谷 泉
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義と実習	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	情報の収集方法とその諸問題への対処法、倫理的問題への対応などを指導する		
学 習 到 達 目 標	本講義の内容を全員が一定のレベルまで理解し、実践できること		
関 連 科 目	情報処理		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	課題 15%、発表 15%、平常点 30%、試験 40%で総合して成績を付ける。		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	情報とは何か	情報の意味と歴史	X.医用工学概論 6 情報科学の基礎 A 情報の概論 a 情報理論の基礎 b 情報の伝達・蓄積・利用 I.臨床検査総論 7 精度管理 A 概略 a 標準偏差 4 検査部門の管理と運営 D 情報管理 a 個人情報保護
2	情報の教育とは何か	情報の教育の意義と歴史	
3	情報収集の実習①	情報収集の方法と留意点①	
4	情報収集の実習②	情報収集の方法と留意点②	
5	情報収集の実習③	情報収集の方法と留意点③	
6	情報収集の実習④	情報収集の方法と留意点④	
7	情報収集の実習⑤	情報収集の方法と留意点⑤	
8	情報収集の実習⑥	情報収集の方法と留意点⑥	
9	情報収集の実習⑦	情報収集の方法と留意点⑦	
10	情報に関する諸問題への対処①	情報処理の倫理的問題と対処法①	
11	情報に関する諸問題への対処②	情報処理の倫理的問題と対処法②	
12	情報に関する諸問題への対処③	情報処理の倫理的問題と対処法③	
13	情報に関する諸問題への対処④	情報処理の倫理的問題と対処法④	
14	情報に関する諸問題への対処⑤	情報処理の倫理的問題と対処法⑤	
15	まとめ	全体の総括	

教 科 書	使用しない
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	教 育 心 理 学	単 位 認 定 者	原 芳 典
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義および演習	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	人と人との関わる教育的出来事(事象)を体験的に振り返り、心理学的に解明・理解する		
学 習 到 達 目 標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、効果的援助方法を習得する		
関 連 科 目	教育学 心理学 臨床心理学 カウンセリング		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(50%)および演習への参加(意見・感想)やレポートなどの平常点(50%)		
準 備 学 習 の 内 容	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらぬが自分の教育体験をよく想起しておく		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	教育心理学を学ぶ意義	ガイダンス 自らの教育体験を振り返る エクササイズ	
2	高校生の心理と発達	様々な発達理論 認知の発達 仲間関係 エクササイズ	
3	中学生の心理と発達	認知の発達 仲間関係 発達課題 エクササイズ	
4	小学生の心理と発達	認知の発達 仲間関係 発達課題 エクササイズ	
5	幼児の心理発達と家庭教育	認知の発達 家族関係 エクササイズ	
6	青年期の心理と課題①	青年期の発達課題 ジェンダー エクササイズ	
7	青年期の心理と課題②	進路とキャリアカウンセリング エクササイズ	
8	教育の実践的諸問題	いじめ 不登校 摂食障害 エクササイズ	
9	自己理解	自己と他者 自己評価 自己効力感 エクササイズ	
10	性格	類型論と特性論 性格検査 エクササイズ	
11	特別支援①	「障害」の定義の変遷 特性とニーズ エクササイズ	
12	特別支援②	高機能広汎性発達障害 アスペルガー LD ADHD	
13	学校臨床心理学	生活の場としての学校 潜在的カリキュラム 同僚性	
14	保健室	養護教諭と健康相談 アセスメント エクササイズ	
15	まとめ	講義のまとめと総括質問受付 エクササイズ	

教 科 書	小山望編「教育心理学～＜エクササイズ＞で学ぶ発達と学習」建帛社 2002年
参 考 書	保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編「子どもの成長 教師の成長～学校臨床の展開」2000

授 業 科 目 名	英 語 I	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	テキストに沿って進める。 講義と受講者の授業参加。	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	専門分野の英語に取り組むための力をつける。 専門分野の基本的英語語彙力をつける。		
学 習 到 達 目 標	読解力とリスニング力の向上。 医療職の基本的英単語、英語表現の習得。		
関 連 科 目	【関連する教養科目】英語 II 英語基礎 英語表現 ステップアップ英語 I, II, 英語講読 I, II 広義には検査技術に関する科目全般に関連する。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	前期末試験(90%) 医療英単語テスト(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	Reading: 各 Unit の本文と単語を予習する。 Conversation: 授業で学習した医療英単語、英語表現を覚え、発音し、書けるようにする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Introduction	授業の説明、自己紹介	
2	(Reading) I-1. (Conversation) Unit 1	A Holistic View of Humans Meeting Patients 患者登録と生活習慣アンケート	
3	(Reading) I-1. (Conversation) Unit 1	A Holistic View of Humans Meeting Patients 患者登録と生活習慣アンケート	
4	(Reading) I-1. (Conversation) Unit 2	A Holistic View of Humans Taking Medical History 病歴および健康状態の把握	
5	(Reading) I-2. (Conversation) Unit 2	Homeostasis, Stress, and Adaptation Taking Medical History 病歴および健康状態の把握	
6	(Reading) I-2. (Conversation) Unit 3	Homeostasis, Stress, and Adaptation Assessing Patients' Symptoms 病状や症状をアセスメント	
7	(Reading) I-2. (Conversation) Unit 3	Homeostasis, Stress, and Adaptation Assessing Patients' Symptoms 病状や症状をアセスメント	
8	(Reading) I-3. (Conversation) Unit 4	Lifespan Development Taking Vital Signs バイタル・サインの正確な計測	
9	(Reading) I-3. (Conversation) Unit 4	Lifespan Development Taking Vital Signs バイタル・サインの正確な計測	
10	(Reading) I-3. (Conversation) Unit 5	Lifespan Development Taking Specimens 検体の採取	
11	(Reading) II-3. (Conversation) Unit 5	Organ Transplant:A Matter of Life and Death Taking Specimens 検体の採取	
12	(Reading) II-3. (Conversation) Unit 6	Organ Transplant:A Matter of Life and Death Taking Medical Examinations 検査の注意や指示	
13	(Reading) II-3. (Conversation) Unit 6	Organ Transplant:A Matter of Life and Death Taking Medical Examinations 検査の注意や指示	
14	(Reading) ニュース英語 (Conversation) Unit 7	英字新聞の記事を読む Assessing the Pain 痛みのアセスメント	
15	(Reading) ニュース英語 (Conversation) Unit 7	英字新聞の記事を読む Assessing the Pain 痛みのアセスメント	

教 科 書	・西村月満、James W. Pagel 他、 <i>Health Care Today</i> 『英語で学ぶ医療と健康』朝日出版社、2006年。 ・黛 道子、宮津多美子、杉田雅子他、 <i>Caring for People</i> , Cengage Learning, 2014年。
参 考 書	英和辞書、英英辞書

授 業 科 目 名	英 語 II	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	テキストに沿って進める。 講義と受講者の授業参加。	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	英語 I で養成した専門分野の英語に取り組める力の継続と発展。 専門用語語彙力の継続と発展。		
学 習 到 達 目 標	読解力、リスニング力の向上。 医療職の基本的英単語語彙力、英語表現力の向上。 専門用語語彙力の発展。		
関 連 科 目	【関連する教養科目】英語 I 英語基礎 英語表現 ステップアップ英語 I, II 英語講読 I, II 広義には検査技術に関する科目全般に関連する。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	後期末試験(90%) 医療英単語テスト(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	Reading: 各 Unit の本文と単語を予習する。 Conversation: 授業で学習した医療英単語、英語表現を覚え、発音し、書けるようにする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	(Reading) III-1. (Conversation) Unit 8	The Health Care Team Advising about Medication 投薬についてのアドバイス The Health Care Team	
2	(Reading) III-1. (Conversation) Unit 8	Advising about Medication 投薬についてのアドバイス The Health Care Team	
3	(Reading) III-1. (Conversation) Unit 9	Improving Patients' Mobility 体の機能回復の介助・援助	
4	(Reading) III-2. (Conversation) Unit 9	Communication Skills Improving Patients' Mobility 体の機能回復の介助・援助	
5	(Reading) III-2. (Conversation) Unit 10	Communication Skills Advising on Nutrition and Diet 栄養と食餌	
6	(Reading) III-2. (Conversation) Unit 10	Communication Skills Advising on Nutrition and Diet 栄養と食餌	
7	(Reading) IV-1. (Conversation) Unit 11	Rest and Sleep Caring for Inpatients 入院病棟での患者ケア	
8	(Reading) IV-1. (Conversation) Unit 11	Rest and Sleep Caring for Inpatients 入院病棟での患者ケア	
9	(Reading) IV-1. (Conversation) Unit 12	Rest and Sleep Coping with Emergencies 緊急事態への対処	
10	(Reading) IV-3. (Conversation) Unit 12	High-tec Diagnostic Tests Coping with Emergencies 緊急事態への対処	
11	(Reading) IV-3. (Conversation)	High-tec Diagnostic Tests Coffee Break 1,2,3	
12	(Reading) IV-4. (Conversation) Skit	High-tec Diagnostic Tests Skit を作る(グループワーク)	
13	(Conversation) Skit	Skit を作る(グループワーク)	
14	(Conversation) Skit	Skit を作る(グループワーク)	
15	Skit	Skit 発表会	

教 科 書	・西村月満、James W. Pagel 他、 <i>Health Care Today</i> 『英語で学ぶ医療と健康』朝日出版社、2006 年。 ・黛 道子、宮津多美子、杉田雅子他、 <i>Caring for People</i> , Cengage Learning, 2014 年。
参 考 書	英和辞書、英英辞書

授 業 科 目 名	英 語 表 現	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	テキストに沿って進める。 講義と受講者の授業参加。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	英語 I、英語 II で養成した専門分野の英語に取り組める力の継続と発展。		
学 習 到 達 目 標	読解力、リスニング力、スピーキング力の向上。 医療英単語語彙力、医療現場での英語表現力の向上。		
関 連 科 目	【関連する教養科目】英語 I、II 英語基礎 ステップアップ英語 I、II 英語講読 I、II 広義には検査技術に関する科目全般に関連する。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	後期末試験(90%) 医療英単語テスト(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	Reading: passage を予習する。 前回の授業で習った 医療英単語、英語表現を覚える。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Introduction & Unit 1	First Visit to a Hospital	
2	Unit 1	First Visit to a Hospital	
3	Unit 2	How to Fill in a Registration Form	
4	Unit 2	How to Fill in a Registration Form	
5	Unit 3	Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities	
6	Unit 3	Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities	
7	Unit 4	Mr. Brown's Symptoms	
8	Unit 4	Mr. Brown's Symptoms	
9	Unit 5	Medical Check Up 1	
10	Unit 5	Medical Check Up 1	
11	Unit 6	Medical Check Up 2	
12	Unit 6	Medical Check Up 2	
13	Unit 7	Mr. Brown's Diagnosis	
14	Unit 7	Mr. Brown's Diagnosis	
15	Unit 8	Mr. Anderson's Symptoms	

教 科 書	樋口昌彦&John Tremarco、 <i>First Aid!</i> 、金星堂、2013年。
参 考 書	英語辞書

授 業 科 目 名	ステップアップ英語 I	単 位 認 定 者	柴 山 森 二 郎
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	問題演習、語法解説、小テスト	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	保健医療専門職に求められる国際交流、海外視察、留学などに備えて、英語に興味を持ち、英語の学習を継続できる能力を養成する。		
学 習 到 達 目 標	1. 簡単な英語の発表や会話を聞き、質問または意見を述べることができるようになる。 2. 簡単な英文を読んで理解し、また自分でも簡単な英文を書くことができるようになる。		
関 連 科 目	英語基礎、英語 I、英語 II		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業中の小テスト(40%)と期末テスト(60%)で総合的に評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	出版社の Homepage から Text の音声ファイルをダウンロードして予習と復習を行う。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Introduction		
2	Unit 1. 心身を育む朝食	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
3	Unit 2. 医者にかからなくて済むように	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
4	Unit 3. 笑いが心身にもたらす影響は	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
5	Unit 4. フランス人はなぜ太らない	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
6	Unit 5. 寿司もわさびも大人気	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
7	Unit 6. 納豆を食べるといいことばかり	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
8	Review	Unit 1～6 の復習	
9	Unit 7. 急性アルコール中毒にご注意	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
10	Unit 8. イビキは身体の危ないサイン	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
11	Unit 9. 質の良い睡眠をとるには	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
12	Unit 10. チョコレートの秘めたる力	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
13	Unit 11. どうして加工食品はよくないか	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
14	Unit 12. 遺伝子組み換え食品の安全性を問う	単語の意味、会話の聞き取り、易しい文章を読む、作文などの学習を行う。	
15	Review	Unit 7～12 の復習	

教 科 書	書名: Better Health for Every Day 「毎日の健康に学ぶ大学総合英語」 出版社: (株)金星堂 定価: 1900 円(税別) ISBN: 978-4-7647-3983-3 C1082
参 考 書	英英辞典、英和辞典

授 業 科 目 名	ステップアップ英語Ⅱ	単 位 認 定 者	柴 山 森 二 郎
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	1. 会話、2. 問題練習、3. 語法説明、 4. 小テスト	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	保健医療専門職に求められる国際交流、海外視察、留学などに備えて、TOEIC 受験用の練習教材を利用して、英語表現を学び、英語によるコミュニケーションの力をつける。		
学 習 到 達 目 標	英語で日常生活に必要な会話ができる、日常使用される英語の文書が読める、英語でメールや手紙などを書くことができる、などの力をつける。		
関 連 科 目	英語基礎、英語Ⅰ、英語Ⅱ		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業中の小テスト(40%)と期末テスト(60%)で総合的に評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	テキストに添付された CD を使って予習と復習を行う。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Introduction to the lessons	授業の進め方、予習復習の仕方	
2	Unit 1 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
3	Unit 2 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
4	Unit 3 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
5	Unit 4 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
6	Unit 5 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
7	Unit 6 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
8	Review	Review では Unit 1-6 で学習した表現・語彙とその用法を復習する。	
9	Unit 7 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
10	Unit 8 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
11	Unit 9 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
12	Unit 10 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
13	Unit 11 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
14	Unit 12 Part 1-7	Part1-7 の問題をしながら役に立つ表現・語彙を学習する。	
15	Review	Review では Unit7-12 で学習した表現・語彙とその用法を復習する。	

教 科 書	書名:Starting on the TOEIC Test (CD 付き) 著者:安浪誠祐、Richard S. Lavin 出版社:朝日出版社 定価:1800 円+税
参 考 書	英英辞典、英和辞典

授 業 科 目 名	中 国 語	単 位 認 定 者	深 町 悦 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。		
学 習 到 達 目 標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができるように進めたい。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	期末に筆記試験を行う。出席率と受講時の学習態度を参考し、総合成績を評価する。 基準は筆記試験の成績が70%、授業の出席率が30%。		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義で学習した内容を復習すること。特に発音と四声はテキストの CD を参考しながら繰り返し練習して欲しい。新しい単語を暗記し、漢字の書く練習と読む練習をすること。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	第1課 発音の基本	ガイドンス、母音、四声	
2	第2課 子音(1)	第1課の復習、子音、第三声	
3	第3課 子音(2)	第2課の復習、子音、“不”の変調	
4	第4課鼻母音、“一”の変調	第3課の復習、儿化音、鼻母音	
5	数字、発音と四声の復習	第4課の復習、数字、発音の練習(音節表の朗読)	
6	声調の組み合わせ、挨拶語	確認テスト、教室用語	
7	第5課の学習	文法(述語文、疑問文)、会話	
8	第5課の復習、練習	会話の練習、練習問題	
9	第6課の学習	第5課の復習、第6課の文法(動詞、量詞)、会話	
10	第6課の復習、練習	第6課の復習、会話の練習、練習問題	
11	第7課の学習	文法(助詞、助動詞、連動文)、時刻、会話	
12	第7課の復習	第7課の復習、会話の練習、練習問題	
13	第8課の学習	文法(助詞、前置詞、数量補語)、会話	
14	第8課の復習	第8課の復習、会話の練習、練習問題	
15	まとめ	第1課から第8課までの復習	

教 科 書	楽しく話せる中国語
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	コ リ ア 語	単 位 認 定 者	青 木 順
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。		
学 習 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業中の小テスト数回(40%)・期末テスト(60%)		
準 備 学 習 の 内 容	授業の復習をよくすること		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	第一課	<p>コリア語は語順が日本語と非常に似ており日本人にとっては学び易い言語といえる。反面、日本語にない発音が多いため正確な発音を習得するには少々時間を要する。そこで、発音の練習とともに語彙を増やし、基本文法や会話を体系的に指導していく。</p> <p>前半はハングル文字の読み書きを中心に、語彙を増やすとともに簡単な挨拶言葉が言えるように、後半は文法を中心に簡単な日常会話ができるように講義を行う。また音楽鑑賞などを通じて、韓国の社会や文化に触れさせる。</p> <p><文字と発音></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハングルの読み方 基本母音と基本子音の一部 ・ハングルの読み方 基本子音 ・ハングルの読み方 基本子音と激音 ・ハングルの読み方 激音と濃音 ・ハングルの読み方 合成母音 ・ハングルの読み方 パッチム ・ハングルの読み方まとめ <p>挨拶言葉など通して韓国文化を学ぶ。</p> <p><文法と会話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私は青木です」単語と文法 ・「私は青木です」文法と会話 ・「何人家族ですか」単語と文法 ・「何人家族ですか」文法と会話 ・「すみません」単語と文法と会話 ・「どうぞ召し上がってください」単語と文法 ・「どうぞ召し上がってください」文法と会話 ・まとめ 	/
2	第二課		
3	第三課		
4			
5	第四課		
6	第五課		
7	第六課		
8	第七課		
9			
10	第八課		
11			
12	第九課		
13	第十課		
14			
15	まとめ		

教 科 書	講師作成教材使用予定(コピー)
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	家 族 学	単 位 認 定 者	坂 本 祐 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	学生は皆、家族関係の中にあり、今後その多くは自ら新しい家族を形成していく。また、保健医療サービスの対象者の多くは家族関係の中にあり、サービス提供にあたっては、その人だけでなく、家族や家族関係をも対象とすることが必須である。この科目は、職業人、生活者、市民としての家族に関する見識および“家族する力”の養成と、家族を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 近代家族の特徴、家族機能など、家族を理解し、考察し、ひいては将来サービス対象とするための基本的な概念を習得する 2. 自分と定位家族、自らが将来つくるかもしれない家族、そこにおける家庭生活、家庭生活と職業生活のバランス等についてより具体的に考えられるようになる 3. 保健医療サービスの対象者が家族関係の中にあることや、当事者だけでなく家族関係もサービス対象となることが認識できる		
関 連 科 目	【関連し合う教養科目】 ジェンダー論 地域社会学 法学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	学習到達目標の達成度を測る内容の定期試験の結果に出席、ミニッツペーパーの記述・提出、取組み姿勢をはじめとする平常点を加味して評価する。配点内訳は、試験点 7:平常点 3 を目安とする。		
準 備 学 習 の 内 容	前回授業の重要事項を見直しておくこと		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	家族をとらえる(1)	近代家族の基本概念 近代家族の特徴 近代家族の誕生 家族とはなにか	
2	家族をとらえる(2)	家族の変動 家族と世帯 世帯の動向 家族周期	
3	家族の機能(1)	近代家族が担ってきた基本機能=生活保障	
4	家族の機能(2)	個人的機能 社会的機能	
5	家族のつながり(1)	家族のつながりの変化と現状 家族行動の個別化	
6	家族のつながり(2)	家族のつながりの変化による影響 子育て負担の偏り	
7	家族をめぐる制度	“夫婦別姓”とはどういう問題か	
8	家庭経済(1)	家庭経済内部の4つの活動とその循環	
9	家庭経済(2)	生活とお金 ワーキングプア	
10	生活習慣(1)	生活習慣、医療と生活習慣、生活習慣への働きかけ	
11	生活習慣(2)	家族と生活習慣①食生活、②喫煙、③飲酒	
12	ワーク・ライフ・バランス(1)	ワーク・ライフ・バランス 働く人の生活への配慮	
13	ワーク・ライフ・バランス(2)	家庭責任をもつ人の仕事への支援	
14	ワーク・ライフ・バランス(3)	臨床検査技師としての成長と私生活の運営・充実	
15	まとめ	講義内容の振り返り	

教 科 書	使用しない(プリントや資料を配布する)
参 考 書	「日本型近代家族—どこから来てどこへ行くのか」千田有紀(勁草書房) 「父親になる、父親をする：家族心理学の視点から」柏木恵子(岩波ブックレット；No. 811) 「家族の悩みにおこたえしましょう」信田さよ子(朝日新聞出版)

授 業 科 目 名	情 報 処 理	単 位 認 定 者	西 谷 泉
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	コンピュータを使った実習形式で行う。	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	Excel を使用した実習を通して、情報処理の基本的な知識・技能を実習的に習得する。		
学 習 到 達 目 標	Excel を用いて種々のデータを表やグラフ等に表現処理し、その結果を考察すると共に、結果をプレゼンテーションできるようにする。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験(40%)・課題提出(15%)・発表(15%)・平常点(30%)を総合判断して、成績評価を行う。詳細は、講義の中で説明する。		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	統計学の基礎①	統計学の歴史について指導する	
2	統計学の基礎②	統計学の基本的事項について指導する	
3	Excel の基本	Excel の基本的事項について指導する	
4	合計、平均の計算	種々のデータの合計、平均について指導する	
5	関数の活用	Excel 内の種々の関数について指導する	
6	最大・最小	種々のデータの最大値・最小値について指導する	
7	表の作成	種々のデータを表にする方法を指導する	
8	グラフ作成	種々のデータのグラフの描き方について指導する	
9	様々なグラフ	種々のグラフの描き方等について指導する	
10	データベースの基本事項	種々のデータベース作成について指導する	
11	データのソート、検索、集計	種々のデータのソート、検索、集計を指導する	
12	Word への Excel の埋め込み	Word への Excel の埋め込みについて指導する	
13	研究課題の発表①	各受講生が独自に調べた内容を PowerPoint を用いてプレゼンテーションを行う	
14	研究課題の発表②	各受講生が独自に調べた内容を PowerPoint を用いてプレゼンテーションを行う	
15	まとめ	全体的なまとめを行う	

教 科 書	「30 時間でマスター Excel2010」(実教出版)
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	法 学 (日 本 国 憲 法 含 む)	単 位 認 定 者	斎 藤 周
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講 義	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講 義 の 前 後
科 目 の 目 的	基本的人権・民主主義・平和といった問題を検討することを通じて、ひとりひとりが幸せに生きられる社会のあり方を考える。		
学 習 到 達 目 標	政治・経済・社会への認識を深め、主権者として成長する。あるいはより一般的に言えば、事実に基づいて論理的にものごとを考える力をつける。法律の条文や解釈を暗記することは必要ない。		
関 連 科 目	経済学、ジェンダー論、家族学、教育学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	論述中心の筆記試験により評価する。〈自分の考えを、説得力をもって説明できているかどうか〉を、評価の基準とする。(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	参考文献を読む。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	序論	憲法・法律の役割	
2	人権総論	人権とは何か	
3	人権各論①	家族と人権	
4	人権各論②	労働と人権	
5	人権各論③	権利としての教育	
6	人権各論④	刑罰と人権	
7	人権各論⑤	被疑者・被告人の人権と冤罪	
8	人権各論⑥	表現の自由	
9	民主主義と政治制度①	民主主義と独裁政治	
10	民主主義と政治制度②	参政権と選挙制度	
11	民主主義と政治制度③	国民主権と象徴天皇制	
12	平和①	15年戦争	
13	平和②	原爆投下	
14	平和③	憲法9条と自衛隊・在日米軍	
15	平和④	海外派兵と改憲論	
★	各回の授業内容と順番は変更することがある。		

教 科 書	使用しない
参 考 書	森英樹『新版 主権者はきみだ -憲法のわかる50話-』岩波ジュニア新書

授 業 科 目 名	環 境 学	単 位 認 定 者	西 菌 大 実
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。		
学 習 到 達 目 標	1. 環境問題の背景と発生原因への理解 2. 公害問題、地球環境問題とその対策、関連する法制度の理解 3. 資源・エネルギーの適切な利用の理解と循環型社会・持続可能社会構築への認識		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(90%)、平常点(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	自筆ノートの整理		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	環境とは	環境問題の範囲と背景	
2	地球の環境の構造	地球の自然の成り立ち	
3	生活を支える資源	再生可能資源と再生不能資源、食料生産と環境	
4	環境問題の変遷	公害問題から地球環境問題への歴史的・内容的変遷	
5	典型七公害	足尾鉍毒、四大公害病	
6	有害物質による環境汚染	イタイイタイ病を事例として	
7	水質汚濁(Ⅰ)	水質汚濁の原因、生活排水、BOD	
8	水質汚濁(Ⅱ)	水質汚濁の対策、下水と浄化槽、多自然川づくり	
9	オゾン層破壊	オゾン破壊物質、紫外線	
10	地球温暖化(Ⅰ)	温室効果ガス、気候変動の状況と見通し、対策	
11	地球温暖化(Ⅱ)	予防原則、世代間公平の原則、先進国途上国の責任	
12	エネルギー問題	日本の1次エネルギー現状、再生可能エネルギー	
13	廃棄物問題	一般廃棄物、産業廃棄物、医療廃棄物、感染性廃棄物	
14	循環型社会	3R、熱回収、適正処分	
15	持続可能社会	再生可能資源中心の社会づくり	

教 科 書	使用しない(プリント配布)
参 考 書	「環境白書」環境省編・ぎょうせい

授 業 科 目 名	ジ ェ ン ダ ー 論	単 位 認 定 者	坂 本 祐 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	1.高度経済成長期以降の日本における、「性別」を組み込んだ社会のありようを解説し、それがどのような問題を生み出してきたかを理解する 2.若い人たちが形成のその担い手となる、性別に関して公正な社会像を明らかにし、そこに至る具体的な方策を考える		
学 習 到 達 目 標	1.日常生活・社会生活の中にある、性別に関するさまざまな社会慣習、社会通念を認識できる 2.従来の社会慣習、社会通念にどのような問題があったのかが理解できる 3.性別について公正で、どのような性別の人にもより生きやすい社会の姿を認識できる 4.性別を帯びた存在として社会人・生活者・市民となっていく自身の生き方をより具体的に考えることができる		
関 連 科 目	【関連する教養科目】家族学、法学、地域社会学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義を踏まえ、主に、課題に対する自身の分析・解釈・見解を論述する形の試験を実施する。試験点に出席、ミニツッパーパーの記述・提出、取組み姿勢をはじめとする平常点を加味して評価する。配点内訳は、試験点 7:平常点 3 を目安とする		
準 備 学 習 の 内 容	前回授業の重要事項を見直しておくこと		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ジェンダー、戦後日本社会のジェンダー構造	ジェンダーとは 製造装置の回路(2つの性別分業)、一次生産物(社会資源の男性偏在)、二次生産物(女性問題)	
2	製造装置を読み解く(1)	第1の性別分業:社会的労働と私的労働	
3	製造装置を読み解く(2)	第1の性別分業:社会的労働と私的労働(続)	
4	製造装置を読み解く(3)	第2の性別分業:社会的労働の中の性別分業(基幹労働と周辺労働)、2つの性別分業の関係	
5	生産物次元の問題(1)	一次生産物:経済力と意思決定の男性への偏り、	
6	生産物次元の問題(2)	二次生産物:女性問題—女性に対する暴力、とくに DV を具体例として(1)	
7	生産物次元の問題(3)	二次生産物:女性問題—女性に対する暴力を例に DV(1)	
8	生産物次元の問題(4)	二次生産物:女性問題—女性に対する暴力を例に DV(2) ハラスメント	
9	子育てとジェンダー	子育てに係る能力に男女差はあるのか?	
10	児童虐待(1)	児童虐待の定義、種類、問題	
11	児童虐待(2)	児童虐待の実態	
12	児童虐待(3)	児童虐待の防止・対応	
13	性別について 公正な社会へ(1)	国連女性差別撤廃条約、男女共同参画社会基本法、性別について公正な社会の姿(1)	
14	性別について 公正な社会へ(2)	性別について公正な社会の姿(2) 社会的労働と私的労働のゆくえ	
15	まとめ	まとめ	

教 科 書	使用しない(プリントによる)
参 考 書	内閣府「男女共同参画白書 平成 26 年度版」

授 業 科 目 名	地 域 社 会 学	単 位 認 定 者	坂 本 祐 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	日常生活においては、あまり意識することのない「地域」であるが、様々な領域において、「地域」の重要性が再認識されている。少子高齢の進行する日本社会において、高齢者と子どもの生活も「地域」を基盤としているし、環境や防災の問題においても「地域」での解決を要する問題である。講義を通して、地域社会における問題点、自分の身近な地域における生活の問題と意味を考えることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 地域社会に関する基本的な知識(地域社会の概念、日本社会における歴史的な地域社会の状況、地域社会の構成要素など)を身につける。 2. 地域社会で解決しうる現代社会の諸問題について学ぶ。 3. 地域社会を身近なこととしてとらえ、地域社会に対して各自が関心と意見を持つ。		
関 連 科 目	関連し合う教養科目 －家族学 ジェンダー論 ボランティア活動論 経済学 この科目が基盤となる専門基礎科目 －社会福祉・地域サービス論 国際医療協力論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義時間内に、何度か小レポートを実施。定期試験、小レポート、平常点などを考慮して総合的に評価する(定期試験 70%・平常点と小レポート 30%)。		
準 備 学 習 の 内 容	普段から社会の変化を感じ、地域社会で何が問題になっているのか自分で考える力を養うため、新聞を読む習慣をつけてもらいたい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	地域社会学の概論(1)	地域社会、地域コミュニティへのアプローチ。なぜ今「地域」が重要なのか。地域社会とは何か。	
2	地域社会学の概論(2)	地域社会の都市化への変遷・歴史。生活の質とライフスタイルの変化。	
3	地域社会学の概論(3)	地域社会で解決しうる諸問題について(環境、家族、教育、福祉、防災など)①	
4	地域社会学の概論(4)	地域社会で解決しうる諸問題について(環境、家族、教育、福祉、防災など)②	
5	地域社会学の概論(5)	地域社会で解決しうる諸問題について(環境、家族、教育、福祉、防災など)③	
6	地域と家族(1)	労働環境の変化と地域社会における生活の変化	
7	地域と家族(2)	家族の機能と家族の変容	
8	子育てと地域社会(1)	都市化の進展と子育て環境の変化	
9	子育てと地域社会(2)	地域で育児を支援する様々な取り組み	
10	地域コミュニティの担い手(1)	コミュニティ福祉の理念と方法	
11	地域コミュニティの担い手(2)	ボランティアと住民組織の再評価 新しい公共	
12	地域コミュニティの担い手(3)	NPO の可能性とコミュニティ・リーダー	
13	地域コミュニティの担い手(4)	地域における社会起業家の活躍 コミュニティ・ビジネス	
14	地域コミュニティの形成	地域におけるソーシャル・キャピタルとネットワーク	
15	まとめ	講義内容の振り返り	

教 科 書	使用しない(必要に応じて随時、レジュメや資料を配布する)
参 考 書	「地域の社会学」森岡清志編(有斐閣アルマ)

授 業 科 目 名	ボランティア活動論	単 位 認 定 者	竹 澤 泰 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義 実践	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	ボランティアとは何か。ボランティア活動実施における問題点。ボランティア活動と心の交流。		
学 習 到 達 目 標	ボランティアについての基本概念とその歴史を修得。 ボランティア活動を国内のみならず国際的な見地からもながめ、現在行われている活動を調査・理解する。そして将来のボランティア活動参加意欲を育てる。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	テーマ毎に行うグループプレゼンテーションとそのレポート(60%)。毎時間講義内容に対する意見提出に対する評価(40%)。		
準 備 学 習 の 内 容	自分の意見や考え方を表現出来るようにしておく。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ボランティアとは エゴグラムテスト	学生に「ボランティア」についてのディフィニションを問う エゴグラムテストにより自己分析・認識をする。 ボランティア活動のみならず将来の職業においても必要である	IX公衆衛生学 8 国際保健 A 国際機関・医療協力
2	ボランティア活動	講師の30年間のボランティア活動(日本と米国) 現在行っているNPO法人の活動について	
3	ボランティアの歴史	ボランティア活動の歴史概論	
4	ボランティア活動の経験談	足利市市民活動センター長 鈴木光尚氏	
5	ボランティア活動の経験談	アトランタパラリンピック 銅メダリスト 塚本京子氏	
6	ボランティア活動の経験談	坂本侃氏	
7	ボランティア活動のプレゼンテーション、調査開始	発表に関する資料作り方について質疑応答 グループ毎に現行のボランティア活動を調査する前に、調査の仕方・調査の論点がずれていないかを確認自分の意見を持ち、聞き手に理解させる話方の訓練。学生同志発表を採点する。質疑応答	
8	同上	同上	
9	プレゼンテーション開始	各グループで調査しまとめたことを発表する	
10	同上	同上	
11	同上	同上	
12	同上	同上	
13	ボランティアについて 講義全体のまとめ	調査・学習したことについてのまとめの指導 ボランティアについての意見交換	
14	レポートの書き方	発表した結果をレポートにまとめ方指導	
15	まとめ	レポート提出	

教 科 書	使用しない
参 考 書	「ボランティアという人間関係」原田隆司(世界思想社) シリーズ福祉のこころ 1 福祉の心 2 障害ってなんだろう、3 老いのものがたり、4 きみの心のサポーター、 5 命のあかりを求めて 旬報社

授 業 科 目 名	経 済 学	単 位 認 定 者	飯 島 正 義
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義形式	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは私たちの経済生活そのものを知ることになります。		
学 習 到 達 目 標	1. まず経済学の基礎理論をできるようにする 2. その上で、現実の経済問題について理解できるようにする		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	平常点(学習態度、授業中に行う確認プリント等)40%、学期末試験(筆記試験)60%		
準 備 学 習 の 内 容	高校時代に学んだ「政治・経済」の「経済」のところをもう一度見直しておいて下さい。一層理解が深まると思います。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション	授業内容とその進め方、成績評価について説明	
2	国民経済の仕組み	経済3主体、国民経済の仕組みと租税	
3	市場メカニズムとその限界	市場メカニズムとは何か、市場の失敗	
4	景気循環	景気の波、日本の「景気指標」を読む	
5	物価	物価とは何か、インフレ・デフレと私たちの生活	
6	政府の役割	政府の役割、政府の失敗	
7	財政・金融政策(1)	財政政策	
8	財政・金融政策(2)	金融政策	
9	国内総生産(GDP)(1)	国内総生産とは何か、三面等価の原則	
10	国内総生産(GDP)(2)	「国民経済計算」のデータを読む	
11	経済成長	経済成長とは何か、成長要因は、日本の成長率を確認する	
12	貿易・国際収支	比較優位説、国際収支とは何か、「国際収支表」を読む	
13	為替レート	為替レートとは何か、為替レートの変動とその影響	
14	少子高齢化と社会保障(1)	少子高齢化の経済への影響、年金問題	
15	少子高齢化と社会保障(2)	医療問題	

教 科 書	使用しない(当日プリントを配布します)
参 考 書	必要に応じて随時紹介します。

授 業 科 目 名	健 康 ス ポ ー ツ 理 論	単 位 認 定 者	衣 川 隆
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	「健康・スポーツ科学講義第2版」の内容を中心に講義を行う。	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	健康と運動、老化と寿命等に関しその維持と増進方法について考える。またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。近年、スポーツを心理学的視点から科学的に究明しようとするスポーツ心理学の研究は、スポーツの普及・発展とともにに広がりを見せ、スポーツへの参加や運動学習に関するものから、競技力向上や健康づくりに関するものまで多岐にわたっている。本講義では、スポーツ心理学の概要と基礎的知識も学習する。		
学 習 到 達 目 標	健康と運動、老化と寿命に関する内容の理解と自分の考えをまとめさせる。スポーツ行動にともなう心理的なことから、様々な角度から客観的に分析・評価するための基礎的知識と態度を身につける。		
関 連 科 目	健康スポーツ実技		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	①平常点(50%) ②ミニレポート(20%) ③期末試験もしくは最終レポート(30%)		
準 備 学 習 の 内 容	自分自身の健康や体力、栄養について振り返って考えておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	オリエンテーション	健康スポーツ理論講義の中で、大学1年生の生活習慣を目的に向かって正しい方向に進んでいけるように、そして生涯にわたって主体的に心身の健康の保持増進を図っていくことが肝要である旨を意識させる。	
2	身体の仕組みと運動	身体の仕組みと運動	
3	運動と生活習慣病	生活習慣病と関連する要因	
4	身体の発育・発達と運動	子供の時期の運動	
5	学生生活と運動	健康を維持・増進するための運動	
6	老化と運動	老化に伴う身体機能の変化と運動について	
7	スポーツと栄養	運動と栄養、体重コントロールについて	
8	スポーツと心(1)	情動, 競技ストレス	
9	スポーツと心(2)	スポーツの心理的効果	
10	スポーツと心(3)	不安, パーンアウト	
11	コンディショニング(1)	心理的問題と心理的スキル	
12	コンディショニング(2)	目標設定, リラクゼーション	
13	コンディショニング(3)	注意集中, イメージの活用	
14	コンディショニング(4)	情動の自己コントロール	
15	まとめ	まとめ	

教 科 書	使用しない
参 考 書	「健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店

授 業 科 目 名	健 康 ス ポ ー ツ 実 技	単 位 認 定 者	衣 川 隆
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	スポーツ実技を中心に講義を行う	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	各種体育での身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、健康(栄養・運動・休養)の保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚させたい。各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指しましょう。加えて、1年次教育プログラムの目的とするより豊かで協同的な人間関係と学生生活の充実の一助となるよう学生相互のコミュニケーションの機会を意図的に設けます。		
学 習 到 達 目 標	①健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 ②生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身につける。 個人の体力カード、プリント資料を用い、授業を展開する。進捗状況により授業内容の変更もある。・次回の授業 内容を調べる(スポーツのルール・技術やトレーニング方法)。 ③自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整えること。		
関 連 科 目	健康スポーツ理論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	出席、態度、意欲、理解度の総合評価(運動能力の優劣での絶対評価は行わない)		
準 備 学 習 の 内 容	日常生活における体調管理と生活状況管理をしておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	①高山キャンパス	①バスケット&フットサル&トレーニング	
2	②問屋町キャンパス	②体力測定	
3	③高山キャンパス	③バスケット&フットサル&トレーニング	
4	④問屋町キャンパス	④バレーボール&トレーニング&PNFストレッチ	
5	⑤高山キャンパス	⑤バスケット&フットサル&トレーニング	
6	⑥問屋町キャンパス	⑥バレーボール&トレーニング&PNFストレッチ	
7	⑦高山キャンパス	⑦ソフトボール&トレーニング	
8	⑧問屋町キャンパス	⑧バレーボール&トレーニング&PNFストレッチ	
9	⑨高山キャンパス	⑨ソフトボール&トレーニング	
10	⑩問屋町キャンパス	⑩縄跳び大会&PNFストレッチ	
11	⑪高山キャンパス	⑪ソフトボール&トレーニング	
12	⑫問屋町キャンパス	⑫有酸素運動と心拍数&PNFストレッチ	
13	⑬高山キャンパス	⑬ソフトボール&トレーニング	
14	⑭問屋町キャンパス	⑭体力測定	
15	⑮高山キャンパス	⑮ソフトボール&トレーニング	

教 科 書	使用しない
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	大 学 の 学 び 入 門	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義、ワーク	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行する 1.与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習へ 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活へ		
学 習 到 達 目 標	1. 大学での学習に必要な、基本的な学習習慣・学習技術(アカデミック・スキル)を高める 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、人間関係能力を高める(スチューデント・スキル)		
関 連 科 目	全科目		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	レポート(70%)、受講時の意見文・感想文等の平常点(30%)		
準 備 学 習 の 内 容	前回授業の重要事項を見直しておくこと		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル (杉田)	科目の目的・目標・進め方の説明、高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	
2	インターネットリテラシー(岡部)	インターネット利用のルールとマナー	
3	聞く・読む(杉田)	授業を受ける、ノートを取る、本や資料を読む	
4	調べる(佐藤司書)	情報を探す	
5	考える(杉田)	直感的感情的反応から論理的思考へ、課題を見出す、解決の筋道を組立てる	
6	書く:レポートの書き方1(杉田)	レポートとは何か レポート作成の手順	
7	書く:レポートの書き方2(杉田)	論文作法	
8	書く:レポートの書き方3(杉田)	レポートの形式	
9	自身の課題を見つける (杉田)	前回までの授業を踏まえて、自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す	
10	相手の話を聴く (榎本)	ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する.	
11	自分の気持ちや考えを伝える (榎本)	グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする.	
12	協力して作業する(榎本)	これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	
13	書く:テーマを見つける (杉田)	レポートのテーマを決める	
14	書く:レポートを書く (杉田)	レポート作成の実践	
15	書く:レポートを書く (杉田)	レポート作成の実践、提出	

教 科 書	使用しない
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	教 養 ゼ ミ ナ ー ル	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	演 習	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	演習終了後に各グループの担当教員が質問を受け付ける。
科 目 の 目 的	少人数のグループに分かれグループ学習を行う。担当教員を含めたグループ内討論により課題テーマを設定し、調査・研究、討論を行い資料作成などに取り組む。グループ学習の結果については発表会を行い、学習能力を高める。さらに、講義では医療・科学分野などで活躍する外部講師を招き、各領域の仕事内容や医療人としての心構えを学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	1. 課題テーマの選択から発表までの一連のプレゼンテーションの仕方を理解できる。 2. グループ討論に積極的に参加し相手の意見を理解しながら自分の考えを述べることができる。 3. 各職種の仕事内容を理解できる。		
関 連 科 目	生命倫理, 大学の学び入門, チーム医療論, 生殖医療技術学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	演習への取り組み 50%, 発表内容 20%, レポート 30%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。また、授業回数の 3 分の 1 以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。		
準 備 学 習 の 内 容	グループ学習においては課題テーマの情報収集を積極的に行いその内容を理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション	教養ゼミナールの進め方, グループ分け, グループ討論 (藤田, 亀子, 小河原, 川口, 浅見, 古田島, 高橋, 林, 田中, 石垣, 佐藤, 鈴木)	
2	グループ学習(1)	グループ討論(課題テーマの選定, 役割分担)	
3	グループ学習(2)	グループ討論(分担内容の調査結果について報告・討論)	
4	グループ学習(3)	グループ討論(追加・確認内容について報告・討論)	
5	グループ学習(4)	グループ討論(調査・研究結果のまとめ)	
6	グループ学習(5)	発表スライド作成準備(PowerPointの使い方)	
7	グループ学習(6)	発表スライド作成および発表練習	
8	発表と討論(1)	前半グループによる発表・討論(発表10分, 討論3分)	
9	発表と討論(2)	後半グループによる発表・討論(発表10分, 討論3分)	
10	特別講演(1)一病院における臨床検査技師の役割	一般病院における臨床検査技師の業務内容と役割	
11	特別講演(2)一検査センターにおける臨床検査技師の役割	検査センターにおける臨床検査技師の業務内容と役割	
12	特別講演(3)一臨床エンブリオロジストの役割	不妊治療施設における臨床エンブリオロジストの業務内容と役割	
13	特別講演(4)一企業における臨床検査技師の役割	①企業学術部における臨床検査技師の業務内容と役割 ②治験コーディネーターの業務内容と役割	
14	特別講演(5)一科学捜査研究所における役割	科学捜査研究所における業務内容と役割	
15	特別講演(6)一日本臨床検査技師会の歴史と活動内容	日本臨床検査技師会の歴史と活動内容, および臨床検査技師会長を囲んでの全体討論会	

教 科 書	使用しない
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	生 物 学 基 礎	単 位 認 定 者	佐 藤 久 美 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	高等学校で学んだ「生物」の知識を基に専門科目の生命科学関連科目を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	以下の事項を学ぶことによりヒトの生命活動の概要を理解することを目標とする。 1. 生命を支える物質 2. 生命の単位、細胞 3. 生命活動とエネルギー 4. 細胞の増殖と分化 5. 遺伝子の本体と遺伝情報の発現 6. ヒトの遺伝		
関 連 科 目	解剖学、生理学、生化学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	学習到達目標の達成度を測る内容の中間試験(35%)・定期試験(50%)・授業への参加度(15%)		
準 備 学 習 の 内 容	各回ともシラバスの講義内容に一致する教科書の部分を読み概要を把握しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1 ∩ 2	ヒトへの進化 教科書 pp.167～ 生命を支える物質 教科書 pp.3～	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生と進化、ヒトへの進化 ・生命現象の特質:一様性、多様性、連続性 ・水と生命との関わり ・タンパク質の構造と機能 ・炭水化物(糖質)と脂質 ・核酸の種類と構造 ・無機質(無機塩類) 	
3 ∩ 4	生命の単位 教科書 pp.13～	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス ・原核細胞 真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能、細胞膜を介した物質の輸送 ・細胞質基質の役割 ・粗面小胞体と滑面小胞体の構造と機能、両者の関係及び粗面小胞体上で合成される蛋白質の特徴 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソゾームとリソゾームに含まれる酵素の特徴、細胞内で果たす役割 ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリアの構造と機能 ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割 	
5 ∩ 6	生命活動とエネルギー 教科書 pp.73～	<ul style="list-style-type: none"> ・酵素の性質や特徴と酵素反応 ・エネルギー運搬体 ATP ・光合成:光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す過程 ・呼吸:生体のエネルギー産生過程とミトコンドリアの役割(解糖系から TCA 回路、電子伝達系によるエネルギーの産生) ・産生されるエネルギーの行方 	

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
7	中間試験 ((30分程度))	1回～6回までの講義内容について問う。	
7 ∫ 9	細胞の増殖・生殖細胞の形成 教科書 pp.87～ 細胞の分化と幹細胞	<ul style="list-style-type: none"> 細胞周期の全体像 間期(S期、G2期、G1期)の活動 細胞周期の調節 分裂期 <ul style="list-style-type: none"> 体細胞分裂 – 染色体の構造、娘細胞への染色体(遺伝子)の分配 – 減数分裂 – 生殖細胞の形成 – 減数分裂期に起こるキアズマ形成と遺伝子組み換えのメカニズムと意義 細胞の分化と各種幹細胞、胚性幹細胞、iPS細胞 幹細胞の医療分野における応用の可能性 多細胞体の体制維持とアポトーシス 	
10 ∫ 12	遺伝のメカニズム 教科書 pp.106～	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の連続性を担う本体、DNAの複製 DNAに組み込まれている遺伝情報 遺伝情報発現の詳細 原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール 原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール 特定の時期(環境)に特定の遺伝子が発現する機構(あるいは発現しない機構) 性染色体の不活化 生体に備わっているDNA修復機構 <ul style="list-style-type: none"> 放射線、化学薬品、食物添加物、化粧品等によるDNAの損傷機構や損傷によって引き起こされる影響 	
13 ∫ 15	ヒトの遺伝 教科書 pp.116～	<ul style="list-style-type: none"> ヒトの遺伝子と染色体 メンデルの法則とヒトの遺伝 家系図の表し方 常染色体性優性遺伝病と劣性遺伝病 伴性遺伝病 ミトコンドリア病、多因子遺伝病 保因者・患者の出現頻度 染色体とその異常 先天異常とその発症要因 	

教科書	人の生命科学 医歯薬出版株式会社 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄
参考書	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ版 大学生物学の教科書 1-3巻 D.サダヴァ他著 ブルーボックス【講談社】 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学 前野正夫・磯川桂太郎著 【羊土社】 高校生物補助教材:生物図録【数研出版】、総合図説生物【第一学習社】 とってもやさしい生物基礎【旺文社】

授 業 科 目 名	数 学 基 礎	単 位 認 定 者	栗 田 昌 裕
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	毎回、講義内容に関連する内容のプリントを配布し、解説する。簡単な問題をその場で考えて解く。	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療や検査技術を含む現象に結びつけて応用するセンスと技能を学び、将来、臨床検査技師として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。		
学 習 到 達 目 標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。3. 定量的にものごとを評価するセンスを磨く。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	筆記試験(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	テキストとして渡すプリントにある例題をそのつど復習して、次回の講義の前提となる基礎力を確実に得ておくことが準備学習である。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	数と式	多項式の四則演算を復習する。生活の中でそのセンスを磨くことを促す。	
2	方程式と不等式	1次不等式、2次方程式の復習をする。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	
3	2次関数	関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最少の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で定量的なセンスを発揮することを促す。	
4	図形と計量	三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	
5	個数の処理	集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを応用、活用することを考える。	
6	確率	事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	
7	論理と命題	命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的にものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	
8	平面図形	平面図形の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	

教 科 書	使用しない
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	化 学 基 礎	単 位 認 定 者	西 菌 大 実
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	化学は基幹学問の一部を形成しており、医学との関連も深く密着している。高校化学を学ばなかった学生に対しても、必要な化学の基本を学べるように進める。		
学 習 到 達 目 標	検査に重要な生理学や医薬品の特質を深く理解できるようになる。また、専門職としての技能向上だけでなく、健康な生活をおくることの手助けとして、化学的理解が役立てられる。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験(90%)、平常点(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	自筆ノートの整理		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	物質の成り立ち	物質は何からできているか	
2	物質の変化	化学反応、燃焼とはなにか、エネルギーの出入り	
3	物質の状態	固体・液体・気体、溶液、コロイド、イオン	
4	有機化合物	炭素の性質、炭化水素、アルコール、有機酸	
5	高分子化合物	炭水化物、脂質	
6	高分子化合物	タンパク質、核酸	
7	生命と化学	生体高分子、酵素	
8	まとめ	内容を振り返ってまとめる	

教 科 書	「食を中心とした化学」【第3版】東京教学社
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	英 語 基 礎	単 位 認 定 者	柴 山 森 二 郎
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	文法の説明、文型練習、発音練習	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	英語の文法で学生の理解が不足している部分を復習する。		
学 習 到 達 目 標	語順と文型、動詞の時制、準動詞、句と節の用法などを理解する。		
関 連 科 目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語表現		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業の課題・小テスト(40%)と期末テスト(60%)で総合的に評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	テキストとプリントの予習と復習をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Unit 1, 2, 3	be 動詞、一般動詞、未来形	
2	Unit 4, 5, 6	助動詞、冠詞、代名詞	
3	Unit 7, 8	前置詞、接続詞	
4	Unit 9, 10	比較、進行形、	
5	Unit11, 12	to 不定詞、動名詞	
6	Unit13, 14	受動態、現在完了	
7	Unit15, 16	関係詞、仮定法	
8	Review	まとめ	

教 科 書	書名: Simply Grammar 著者: 斎藤喜久志、城一道子 発行所: 南雲堂 定価: 1800 円 + 税
参 考 書	英英辞書、英和辞書、和英辞書

授 業 科 目 名	解 剖 学 I	単 位 認 定 者	浅 見 知 市 郎
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	臨床検査技師として必要な人体の基本的な構造を習得する。		
学 習 到 達 目 標	人体の基本的な構造を説明できる。基本的な解剖学用語を知っている。		
関 連 科 目	解剖学Ⅱ、生理学、生化学、病理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	平常点 20%、試験 80%		
準 備 学 習 の 内 容	膨大な学習内容です。必ずシラバスに沿って教科書を読んできてください。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	オリエンテーション	解剖学とは何か 器官とその系統	V 章 病理組織細胞学
2	人体のあらまし	人体の外形と方向用語	1 解剖学総論
3	骨格系	骨学総論	C 立体解剖
4	骨格系	頭部の骨	D 断面解剖
5	骨格系	脊柱 胸郭 上肢の骨	E 人体骨格の概要
6	骨格系	下肢の骨格	
7	筋系	筋学総論 頭頸部の筋	F 筋の概要
8	筋系	体幹の筋	
9	筋系	上肢・下肢の筋	
10	脈管系	血管総論 心臓	
11	脈管系	動脈系	3 解剖学・病理学各論
12	脈管系	静脈系 胎生期の循環 リンパ系	G 体腔と縦隔
13	脈管系	リンパ系器官 血液・血球・造血組織	A 循環器系
14	内臓	消化器総論 口腔	D 血液・造血器系
15	内臓	咽頭 食道 胃 腸	C 消化器系
16	内臓	肝臓 胆嚢 膵臓	
17	内臓	呼吸器総論 鼻腔 副鼻腔 咽頭 喉頭 気管と気管支	B 呼吸器系
18	内臓	肺	
19	内臓	泌尿器系	
20	内臓	男性生殖器	F 腎・尿路系
21	内臓	女性生殖器 腹膜	G 生殖器系
22	内臓	内分泌系	
23	神経系	神経系総論 脊髄	E 内分泌系
24	神経系	延髄 橋 小脳 中脳 間脳	H 神経・運動器系
25	神経系	大脳	
26	神経系	脳室と脳脊髄液 脳神経	
27	神経系	脊髄神経	
28	神経系	自律神経 伝導路	
29	感覚器系	視覚器	I 感覚器系
30	感覚器系	平衡聴覚器 皮膚	J 皮膚及び胸壁

教 科 書	入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	解 剖 学 II	単 位 認 定 者	浅 見 知 市 郎
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	解剖学 I を補完し、主として各臓器の組織学的構造と発生学に重点を置き習得する。		
学 習 到 達 目 標	光学顕微鏡レベルでの組織構造と発生学的事項を説明できる。		
関 連 科 目	解剖学 I 、生理学、生化学、病理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	平常点20% 試験80%		
準 備 学 習 の 内 容	膨大な学習内容です。必ずシラバスに沿って教科書を読んできてください。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	発生学のあらし	受精から着床へ 発生第2週と第3週	V章 病理組織細胞学 1 解剖学総論 A 発生 of 概要 B 細胞と組織
2	発生学のあらし	胎生第4週から第8週 胎生第3月から出生まで	
3	細胞	細胞の構造	
4	細胞	細胞の活動 細胞の一生	
5	上皮組織	上皮組織の特徴 分類 腺	
6	支持組織	結合組織 軟骨組織 骨組織	
7	筋組織	骨格筋組織 心筋組織 平滑筋組織	
8	神経組織	神経細胞 神経線維 シナプス 神経膠細胞 末梢神経の支持細胞	

教 科 書	入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 入門組織学 牛木辰男 南江堂
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	解 剖 学 実 習	単 位 認 定 者	小 林 寛
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	1 単 位 (2 2 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	実 習	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	実習終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	人体の主な器官・組織の顕微鏡所見を理解・学習する。		
学 習 到 達 目 標	人体の主な組織の顕微鏡所見を判別でき、それぞれの機能、特徴について説明できる。		
関 連 科 目	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、病理細胞検査学、病理細胞検査学実習		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	提出スケッチ 40 点、口頭試問 40 点、筆記試験 20 点		
準 備 学 習 の 内 容	その日に観察予定の組織について教科書で予習しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1 ～ 23	人体組織標本観察	光学顕微鏡により人体の組織標本を最大 40 種類観察、スケッチし、口頭試問をうける。 口頭試問に合格しないとスケッチは提出できない。	V 章 病理組織細胞学 1 解剖学総論 B 細胞と組織

教 科 書	入門組織学 牛木辰男 南江堂
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	生 理 学 I	単 位 認 定 者	洞 口 貴 弘
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義実施日の 18:00～19:00
科 目 の 目 的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。		
学 習 到 達 目 標	人体各部の機能および、それを生み出す基本構造と仕組みを確認すること。 これらを発展させ疾患にたいしたときの機能の低下、不安定状態などをよみとる基礎能力を養う。		
関 連 科 目	生理学 I、解剖学 I、解剖学 II、生化学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義題目毎に小テストを行う。 小テストの平均点×0.6+期末試験の点数×0.4 で最終的な評価を決定する。		
準 備 学 習 の 内 容	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる。 そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス 生理学の基礎の基礎	生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官	臨床化学 1 生命のメカニズム B 細胞の構造と働き
2	神経の基本的機能	神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達	臨床生理学 8 神経系検査の基礎 A 神経
3			臨床生理学 10 筋電図検査 A 基礎
4			臨床生理学 8 神経系検査の基礎 B 末梢神経
5	筋肉の基本的機能	筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮	病理組織細胞学 3 解剖学・病理学各論 I 感覚器系
6	神経系の機能	末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節	臨床生理学 8 神経系検査の基礎 B 末梢神経
7			
8			
9			
10	感覚の生理学	様々な感覚の受容と知覚のメカニズム	臨床血液学 1 血液の基礎 A 血液の成分
11			
12			
13			
14			
15	血液の生理学	血液の組成とその機能	

教 科 書	「シンプル生理学 第6版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)
参 考 書	「標準生理学」(医学書院) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 「ギャング生理学」(西村書店) 「はじめの一步のイラスト生理学」(羊土社)

授 業 科 目 名	生 理 学 II	単 位 認 定 者	洞 口 貴 弘
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義実施日の 18:00～19:00
科 目 の 目 的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。		
学 習 到 達 目 標	人体各部の機能および、それを生み出す基本構造と仕組みを確認すること。 これらを発展させ疾患にたいしたときの機能の低下、不安定状態などをよみとる基礎能力を養う。		
関 連 科 目	生理学 I、生理学実習、解剖学 I、解剖学 II、生化学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義題目毎に小テストを行う。 小テストの平均点×0.6+期末試験の点数×0.4 で最終的な評価を決定する。		
準 備 学 習 の 内 容	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる。 そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1 2	睡眠・記憶・情動	脳の高次機能	臨床生理学 8 神経系検査の基礎 C 中枢神経
3 4	呼吸の生理学	呼吸器系基本構造と機能、調節	臨床生理学 6 呼吸器系検査の基礎 A呼吸と睡眠の生理
5 6 7	内分泌系の機能	ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能	臨床化学 14 ホルモン Aホルモンの種類と性質
8 9 10	消化と吸収	消化管の基本構造と機能、調節	病理組織細胞学 3 解剖学・病理学各論 C 消化器系
11 12 13	循環の生理学	心臓血管系の基本構造と機能、調節	臨床生理学 2 循環系検査の基礎 A循環生理 B心臓
14 15	体温とその調節	体温の意義とその調節メカニズム	医用工学概論 1 臨床検査と生体物性 B 生体物性の基礎

教 科 書	「シンプル生理学 第6版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)
参 考 書	「標準生理学」(医学書院) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 「ギャング生理学」(西村書店) 「はじめの一步のイラスト生理学」(羊土社)

授 業 科 目 名	生 理 学 実 習	単 位 認 定 者	洞 口 貴 弘
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (2 2 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	実習、講義	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	実施日の 18:00～19:00
科 目 の 目 的	主要臓器の機能および、運動器、感覚器とその伝導路を確認・理解する		
学 習 到 達 目 標	測定器具(心電図計、スパイロメーターなど)を用い、人体の機能に関するデータの収集法や判読方を学習し、生理学の講義内容を実際に確認するとともに、実験レポートの書き方を学習し、他者に実験内容を分かりやすく報告する方法を身につけることを目標とする		
関 連 科 目	生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	平常点(5%)とレポート(95%)		
準 備 学 習 の 内 容	既に履修済みである、生理学Ⅰ、Ⅱの復習		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス	生理学実習にあたっての諸注意 レポートの書き方 統計処理法	
2	浸透圧	卵半透膜を使用した浸透圧の測定 機器の使用法	臨床化学 1 生命のメカニズム B 細胞の構造と働き
3	心電図と血圧	心電図および血圧の基本原則、測定の基礎を学ぶ	臨床生理学 2 循環系検査の基礎 A 循環生理 3 心電図検査 A 基礎・正常心電図
4	反応時間	視・聴・触覚刺激に対する反応時間を測定し、感覚情報の伝達経路を理解する	病理組織細胞学 3 解剖学・病理学各論 I 感覚器系
5	呼吸	スパイロメーターを用いて、呼吸機能の測定と解析を行う	臨床生理学 7 呼吸機能検査 A 換気機能検査
6	最大酸素摂取量と酸素負債	運動時の心拍数を計測する	臨床生理学 3 心電図検査 C 運動負荷の基礎
7	筋電図	上腕より筋電図を記録し、運動と筋の関わりを理解する	臨床生理学 10 筋電図検査 A 基礎
8	誘発筋電図	神経を電気刺激することで筋電図を誘発させ、中枢および末梢神経系と筋を理解する	臨床生理学 10 筋電図検査 C 誘発筋電図
			臨床生理学 10 筋電図検査 A 基礎
			臨床生理学 8 神経系検査の基礎

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
9	骨格筋の収縮	実験動物を用いて神経筋標本を作製し、刺激の大きさや頻度と筋収縮様式との関連を理解する	A 神経 臨床生理学 8 神経系検査の基礎 C 中枢神経 16 その他の臨床生理検査 C 平衡機能検査
10	神経の興奮と伝導	実験動物を用いて、神経の基本的な性質を理解する	
11	眼球運動	我々の生活を支えている様々な眼球運動を記録し、その性質を理解する	
12	総評	生理学実習のまとめを行う ※状況により、順番・内容を変更する場合があります	

教科書	使用しない
参考書	「シンプル生理学」(南江堂) 「標準生理学」(医学書院) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 「ギャング生理学」(西村書店) 「はじめの一歩のイラスト生理学」(羊土社)

授 業 科 目 名	生 化 学	単 位 認 定 者	亀 子 光 明
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	教科書、資料、スライド等を用いて指導する。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(kameko@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	臨床検査で必要となる、生体物質の構造、機能とその代謝を学ぶとともに、遺伝子や栄養に関する生化学の基礎知識を習得する。		
学 習 到 達 目 標	糖質、脂質、タンパク質、アミノ酸、核酸等の主要な生体構成成分について、生合成や代謝の過程を理解する。		
関 連 科 目	化学、生物学、栄養学、薬理学、生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(65%), ミニテスト6回(30%), 出席点(5%)		
準 備 学 習 の 内 容	教科書および配布資料の目を通しておく。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	生化学総論	生体構成成分、細胞の構造と機能	IV章 臨床化学 1 生命のメカニズム A 生命現象の生体構成成分 a~e 2 生物化学分析の基礎 B 単位 a~c
2	糖質	糖質の定義と分類、構造と機能	5 糖質 A 糖質の構造と機能 a・b
3	脂質	脂質の定義と分類、構造と機能	6 脂質 A 脂質の構造と機能 a・b
4	タンパク質	タンパク質の構造と性質、アミノ酸の分類と構造	7 蛋白質 A アミノ酸と蛋白質の構造と機能 a・b
5	核酸	核酸の構造と性質	17 遺伝子 A 核酸の構造と代謝 a
6	酵素	酵素分類と命名法、酵素反応速度論、酵素活性、アイソザイム	11 酵素 A 酵素の基礎 a~e B 酵素活性の測定 a・b
7	糖質代謝	糖質の消化・吸収、解糖系と糖新生、TCA サイクル、糖質代謝と疾患との関係	5 糖質 B 糖質の代謝 a~g C 糖質の検査 a~d
8	脂質代謝	脂質の消化・吸収、脂肪酸合成と酸化分解、トリグリセリド合成、リン脂質・糖脂質・コレステロールの各代謝	6 脂質 B 脂質の代謝 a~i
9	タンパクの代謝とアミノ酸	タンパク質の消化・吸収、タンパク質の合成と分解、アミノ酸の分解と生合成	7 蛋白質 B アミノ酸と蛋白質の代謝 a~e
10	エネルギー代謝と核酸代謝	高エネルギー化合物、電子伝達系、酸化的リン酸化、ヌクレオチドの合成と分解	8 生体エネルギー A 高エネルギー化合物の役割と種類 a~c
11	情報伝達機構 総論	情報伝達物質の種類、受容体	17 遺伝子 A 核酸の構造と代謝 b

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
12 13	ホルモン 酸塩基平衡	ホルモンの分類と役割 体液の成分、電解質、酸塩基平衡の異常	14 ホルモン A ホルモンの種類と性質 B ホルモンも作用と調節 機序 C ホルモン検査と臨床的 意義 a~k 4 無機質 A 水と無機質の調整およ び代謝 a~c B 無機質の検査 a~d, j, k
14 15	遺伝子 基礎 疾患・検査法	遺伝子の複製、転写、翻訳 遺伝子変異と修復機構、遺伝子異常による疾患、検査方法	17 遺伝子 BDNA の複製 a~b C 遺伝子の構造と発現 a~h D 遺伝子の異常と疾患 a~f E 遺伝子解析法 a~i F 倫理 a~b

教科書	生化学 改定第2版 菌田 勝 編 (羊土社)
参考書	ハーパー・生化学(原書 27 版) 上代淑人 監訳 (丸善) シンプル生化学 改訂第5版 林 典夫 編 (南江堂)

授 業 科 目 名	医 学 概 論	単 位 認 定 者	古 田 島 伸 雄
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。
科 目 の 目 的	医療人として幅広い知識と教養をもって医療に貢献できるように、医学の概要および歴史を知り、わが国の保健・医療・福祉に関する制度をよく理解する。さらに、病気による患者の心理的特徴や医の倫理、医療従事者の倫理について考え、医療従事者の心構えを学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	1. 健康と病気について説明できる。 2. 医学の歴史について説明できる。 3. 病院の役割と我が国の医療制度について説明できる。 4. 医療施設についてその種類と違いを説明できる。 5. 医療法の特徴について説明できる。 6. 医の倫理および医療従事者の倫理について説明できる。		
関 連 科 目	生命倫理, 公衆衛生学, 社会福祉・地域サービス論, 関係法規		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験 80%, 受講態度 20%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。また、授業回数の 3 分の 1 以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。試験形態は筆記試験とする。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)	
1	医学概説(1)	基礎医学, 社会医学, 臨床医学	IX章 公衆衛生学 1 医学概論 A 医学と医療の歴史 B 社会と健康 C 医療と社会の状況	
2	医学概説(2)	健康と病気, 医学と医療		
3	医学の歴史(1)	医学の起源, 原始医術, 古代の医学		
4	医学の歴史(2)	中世の医学, 近世の医学, 日本の医学		
5	病院の部門別役割	病院における各部門の役割		
6	わが国の医療制度	医療体系, 老人の医療と福祉		
7	医療提供体制	医療施設の種類, 医療従事者の身分		
8	医療法	医療法の改正, 我が国の医療制度の特徴		
9	医療保険制度	医療保険の種類, 診療報酬支払制度		
10	社会保障費と医療財政	国民医療費と医療費の現状と問題		
11	病院医療の質	医療の質の維持と向上, 安全な医療		
12	患者心理	患者の心理的特徴, 病気の経過による心理状態		
13	医の倫理	患者の権利の尊重, 死をめぐる諸問題		F 医の倫理
14	医療従事者の倫理	医療従事者の倫理, 医療過誤		
15	医療事故	医療事故をめぐる諸問題		

教 科 書	星 和夫: 臨床検査学講座「保健医療福祉概論」(医歯薬出版)
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	チ ャーム 医 療 論	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。
科 目 の 目 的	これから医療人を目指すにあたり、医療連携のための共通認識事柄を学び、それぞれ医療専門職の職務内容や役割などについて理解し、自身の目指す医療職と他職種との関係を学ぶ。また、実際の医療現場でチームを構成するその他の医療スタッフについても学び、どのような専門職があるか、なぜチーム医療の必要性が強く求められるようになったのかなど、医療の現状とともにその重要性を理解し、「卒業後に臨床現場に臨み、相互の連携を見極め協働する多職種連携の構築能力」の育成を図る。		
学 習 到 達 目 標	1. 臨床検査技師の専門性とチーム医療における役割について説明できる。 2. 看護師の専門性とチーム医療における役割について説明できる。 3. 理学療法士の専門性とチーム医療における役割について説明できる。		
関 連 科 目	生命倫理, 大学の学び入門, 教養ゼミナール		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	レポート 50%, 授業への取り組み 30%, 受講態度 20%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。また、授業回数の 3 分の 1 以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション 総論:チーム医療	イントロダクション(授業の進め方), チーム医療とは何か?(藤田)	
2	臨床検査技師の専門性とチーム医療(1)	臨床検査技師(検体部門)の専門性とチーム医療における役割-1(藤田)	
3	臨床検査技師の専門性とチーム医療(2)	臨床検査技師(検体部門)の専門性とチーム医療における役割-2(藤田)	
4	臨床検査技師の専門性とチーム医療(3)	臨床検査技師(生体部門)の専門性とチーム医療における役割-1(小河原)	
5	臨床検査技師の専門性とチーム医療(4)	臨床検査技師(生体部門)の専門性とチーム医療における役割-2(小河原)	
6	臨床検査技師の専門性とチーム医療(5)	臨床検査技師(生体部門)の専門性とチーム医療における役割-3(小河原)	
7	臨床検査技師の専門性とチーム医療(6)	臨床検査技師(栄養・食品部門)の専門性とチーム医療における役割-1(亀子)	
8	臨床検査技師の専門性とチーム医療(7)	臨床検査技師(栄養・食品部門)の専門性とチーム医療における役割-2(亀子)	
9	臨床検査技師の専門性とチーム医療(8)	臨床検査技師(栄養・食品部門)の専門性とチーム医療における役割-3(亀子)	
10	看護師の専門性とチーム医療(1)	看護師の専門性とチーム医療における役割-1(伊藤)	
11	看護師の専門性とチーム医療(2)	看護師の専門性とチーム医療における役割-2(伊藤)	
12	看護師の専門性とチーム医療(3)	看護師の専門性とチーム医療における役割-3(伊藤)	

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
13	理学療法士の専門性とチーム医療(1)	理学療法士の専門性とチーム医療における役割-1(木村)	
14	理学療法士の専門性とチーム医療(2)	理学療法士の専門性とチーム医療における役割-2(木村)	
15	理学療法士の専門性とチーム医療(3)	理学療法士の専門性とチーム医療における役割-3(木村)	

教科書	水本清久, 他: 実践 チーム医療論—実際と教育プログラム—(医歯薬出版)
参考書	鷹野和美: チーム医療論(医歯薬出版), その他, 必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	病 理 学	単 位 認 定 者	廣 井 禎 之
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	病理学とは疾患の原因、発生メカニズム、そして病気による身体の変化(主に形態)を明らかにする学問である。本科目では基本的な病理学総論、代表的な器官の解剖組織学、機能及びそれらに発生する疾患等について講義し、スライドを用いて症例を呈示する。		
学 習 到 達 目 標	1) 病理学とは何かを説明できる、2) 基本的な病気の原因、発生メカニズム、それにより引き起こされる形態変化を理解できる、3) 加齢の基本変化を理解できる、4) 環境病理学を説明できる。		
関 連 科 目	病理細胞検査学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験による		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について復習を行い、理解をしておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	病理学序論、細胞障害の機序とその修復①	病因(内因と外因)変性、ネクロシスとアポトーシス、萎縮、肥大と過形成、化生、再生、創傷治癒と肉芽組織	V章 病理組織細胞学 人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病の関連 2 病理学総論 A, C
2	細胞障害の機序とその修復②		
3	炎症①	炎症の定義、急性炎症、慢性炎症、炎症の経時的変化と形態学、炎症細胞	2-F
4	炎症②		2-E
5	循環障害	循環障害の発生メカニズム。循環障害における生体の変化	2-D
6	代謝障害	代謝障害の定義と代表的な代謝障害性疾患の病理	2-G
7	免疫異常	免疫反応とアレルギー、免疫不全、自己免疫性疾患の病理	
8	感染症	感染症成立のための条件、主な感染症と病理学	2-A, F
9	染色体・遺伝子の異常①	奇形、染色体異常における人体への影響、遺伝性疾患、遺伝子異常	2-B
10	染色体・遺伝子の異常②		2-H
11	腫瘍①	腫瘍の定義、特徴、転移のメカニズム、腫瘍の深達度、腫瘍の分類、他	
12	腫瘍②		
13	老化	生体の加齢性変化の病理	
14	環境病理学	環境、有害物質により疾患発生メカニズムと病理	3. 解剖学、病理学各論 C
15	肝胆膵の病理学と臨床検査	肝、胆、膵の病理学、肝胆膵の臨床検査医学	

教 科 書	臨床検査学講座 病理学／病理検査学 医歯薬出版 2013
参 考 書	標準病理学:医学書院

授 業 科 目 名	薬 理 学	単 位 認 定 者	栗 田 昌 裕
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義。毎回指導内容をプリントに明記して配布する。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	医療の中で投薬(服薬、注射、輸液、外用など)の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1)薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。 2)薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3)薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。 4)薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、臨床検査に必要とされるレベルに到達することを目標とする。		
関 連 科 目	生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学 医療概論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	薬理学とは 薬物動態	薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。 投与経路と薬の吸収、分布、代謝、排泄。	IV章 臨床化学 12 薬物・毒物 B 生体内の薬物動態
2	麻酔薬と中枢興奮薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬	全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。	
3	向精神薬と抗癌薬 筋弛緩薬と抗パーキンソン薬	向精神薬。抗癌薬(抗てんかん薬)。 筋弛緩薬。抗パーキンソン薬。	
4	自律神経薬。 オータコイド	自律神経の基礎知識。コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬 (付:胃酸分泌抑制薬)。アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。 オータコイドの種類とその作用。プロスタグランディンの臨床応用。	
5	強心薬。抗狭心症薬と抗不整脈薬。	強心薬(ジギタリス)の投与方法。ジギタリスの副作用とその対策。 抗狭心症薬。抗不整脈薬。	
6	利尿薬。 降圧薬。	利尿薬。利尿薬の臨床的応用。 降圧薬。抗動脈硬化薬。	
7	消化器病薬・駆虫薬 内分泌薬	消化器病薬。駆虫薬。 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬。 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬。	
8	血液病薬と抗癌薬	貧血の薬。止血薬。抗血栓療法薬。 開発と化学療法。副作用と組み合わせ。	
9	化学療法薬と免疫療法薬	化学療法薬。抗ウイルス剤。免疫について。免疫療法。	
10	消毒薬と呼吸器病薬	滅菌・消毒法。消毒薬の濃度と殺菌速度。 呼吸器病薬。抗結核薬。	

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
11	皮膚疾患に用いられる薬剤.	皮膚疾患に用いられる薬剤.	
12	放射線診断・治療薬 ショックに用いられる薬剤. 点 眼薬. 輸液	造影剤. 放射性医薬品. ショックの原因別分類. ショックの対応と薬剤. 点眼薬. 輸液の目的. 輸液剤.	
13	毒物および解毒剤 代謝賦活薬. ビタミン剤	中毒の状態. 急性中毒に対する処置. 解毒剤. 排泄と吸着. 代謝賦活薬・ビタミン剤	
14	小児・妊婦・高齢者に対する 薬物療法. 嗜好品の薬理と薬 物相互作用	小児の薬物療法. 妊婦の薬物療法. 高齢者の薬物療法. 嗜好品の薬理. 薬物相互作用.	
15	薬剤の安定性:保存および混合 の問題点. まとめ.	薬剤の保存. 薬剤の混合、配合変化(配合禁忌).	

教科書	使用しない
参考書	「新版看護学全書6 疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学」(メヂカルフレンド社)

授 業 科 目 名	公 衆 衛 生 学	単 位 認 定 者	石 館 敬 三
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	健康及び公衆衛生の基礎的概念を学習する。タテ系である各種疾患対策、環境対策とヨコ系である統計、疫学、健康教育、試験検査などが織りなす総合科学である、活動であることを理解する。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。 		
関 連 科 目	生命倫理 環境学 地域社会学 情報処理		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験 100%		
準 備 学 習 の 内 容	「国民衛生の動向」は公衆衛生の現実社会を写している鏡である。講義前に該当する事項に眼を通しておくことが望ましい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	公衆衛生の理解 人口と公衆衛生	健康の概念の変遷、公衆衛生の概念 世界人口の動向、日本の少子高齢化の進行 年齢3区分別人口の割合	IX章 公衆衛生学 1 医学概論 2 公衆衛生の意義 3 人口統計と健康水準 4 疫学 5 環境と健康 6 健康の保持増進 7 衛生行政
2	環境と公衆衛生	人間と生活環境、環境行政のあゆみ、地球環境問題 大気汚染の状況、公害健康被害補償、環境基準	
3	食と公衆衛生 国民の健康と保健統計 同 上	食中毒の発生状況、食中毒の種類 健康指標、20世紀100年の変化	
4	疫病の疫学と予防 同 上	年齢調整死亡率の意義 疫学概念、疫学調査方法、因果関係推論、 スクリーニング	
5	生活習慣病対策	感染症の疫学、新感染症予防法 結核対策、HIV 対策	
6	公衆衛生活動 例 同 上	がんの予防、その他生活習慣病予防 精神保健対策、介護保険制度	
7	保健・医療行政	母子保健、老人保健、歯科保健、難病対策 地域保健法、医療法改正の動き、地域医療連携 社会保障制度、国民医療費	
8	課題研究発表	指定課題による研究発表	

教 科 書	新体系看護学7 「公衆衛生学」 小野寺伸夫著 (株)メヂカルフレンド社 国民衛生の動向 2012/2013 版 財団法人 厚生統計協会
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	臨 床 医 学 特 殊 講 義	単 位 認 定 者	正 田 純 史
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義を中心とする。	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後
科 目 の 目 的	臨床検査技師として必要な病態(特に外科領域)を学習する。		
学 習 到 達 目 標	臨床検査技師として各種疾患についての病態を把握する。		
関 連 科 目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、整形外科学を含む各臨床科目		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(筆記)80%、授業態度 20%		
準 備 学 習 の 内 容	前の回の講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	臨床検査技師としての各種病態の概論	各種病態における臨床検査技師の役割について考察する。	
2	生体の反応と臓器障害	生体・臓器に損傷が及ぼす反応を理解する。	
3	外科的診断法	代表的な外科疾患の診断法及び処置について学ぶ。	
4	滅菌法・消毒法	無菌法の意義と実践について理解する。	
5	救急疾患	ショックを含む救急疾患の概要を習得する。	
6	損傷(創傷・熱傷等)	生体にとって損傷の意義と対処法について学習する。	
7	感染症学	感染症の病態と対策を概略する。	
8	腫瘍学	腫瘍の概要を把握し、臨床現場を理解する。	
9	整形外科領域	整形外科領域における疾患を理解する。	
10	耳鼻咽喉科領域	耳鼻咽喉科領域における疾患を理解する。	
11	泌尿器科領域	泌尿器科領域における疾患を理解する。	
12	産婦人科領域	産婦人科領域における疾患を理解する。	
13	分子生物学	最新の動向について学習する。	
14	臓器移植	最新の動向について学習する。	
15	まとめ	講義内容の基礎的実践的知識を整理する。	

教 科 書	使用しない(プリントを使用する)
参 考 書	標準外科学(医学書院)

授 業 科 目 名	内 科 学	単 位 認 定 者	門 傳 剛
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	臨床医学の中で内科学は、すべての疾患を知る上で重要な学問である。特に、疾患の病態生理、診断、治療をしっかり学ぶ事は、臨床検査技師にとって臨床の現場で患者の状況を理解し、的確な判断に基づいて理学療法を施す上で重要である。		
学 習 到 達 目 標	疾病の病態生理、診断、治療を一連の流れの中で理解する力を養う。 国試に役立つ疾患について理解を深め、実際の問題に対応する。		
関 連 科 目	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、病理学、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験にて評価(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭に入れておくこと。すると、講義全体の流れがわかるので、それを踏まえて次回の講義を受けることができる。これが準備学習を兼ねることになる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	概論1	<p><薬物療法と食事療法> 薬物療法の実際。薬物の作用。薬物の濃度。医薬品および処方せんに関する法令。薬用量。食事療法の目的。栄養と疾病の関係。栄養学の基本。過栄養。各種病態と食事療法の基本方針。病院食。特殊栄養量。</p> <p><臨床検査> 一般検査。血液検査。生化学検査。内分泌検査。感染症検査。免疫的検査。腫瘍マーカー。生理学的検査。</p> <p>消化器疾患の食事・栄養療法。口腔疾患。食道疾患。胃疾患Ⅰ。</p> <p>胃疾患Ⅱ。腸疾患。腹膜疾患。急性腹症。</p> <p>肝疾患。胆嚢・膵臓疾患。</p> <p>感染性呼吸器疾患。気管支拡張・嚢胞形成性肺疾患。</p> <p>特発性間質性肺炎。肺腫瘍。肺循環障害。</p> <p>産業性呼吸器疾患。気管支喘息。アレルギー性肺疾患。膠原病・血管縁と類縁疾患。サルコイドーシス。その他の呼吸器疾患。</p> <p>うつ血性心不全。不整脈。頻脈性不整脈。</p> <p>徐脈性不整脈。虚血性心疾患。弁膜症。心筋炎。リウマチ熱。</p> <p>血圧の異常。大動脈疾患。末梢動脈疾患。静脈・リンパ系疾患。</p> <p>内分泌疾患の特徴。間脳・下垂体機能障害。甲状腺疾患。</p> <p>副甲状腺疾患。副腎疾患。代謝栄養疾患の総論。糖代謝異常。</p> <p>脂質代謝異常。尿酸代謝異常。その他の代謝異常。</p>	Ⅱ章 臨床検査医学総論 1. 総論
2	概論2		18. 検査診断学総論
3	消化器疾患1		4. 消化器疾患
4	消化器疾患2		5. 肝・胆・膵疾患 3. 呼吸器疾患 6. 感染症
5	消化器疾患3		
6	呼吸器疾患1		
7	呼吸器疾患2		2. 循環器疾患
8	呼吸器疾患3		
9	循環器疾患1		
10	循環器疾患2		8. 内分泌疾患
11	循環器疾患3		
12	内分泌・代謝疾患1		
13	内分泌・代謝疾患2		13. 代謝・栄養障害
14	内分泌・代謝疾患3		
15	まとめ		

教 科 書	使用しない
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	老 年 医 学	単 位 認 定 者	栗 田 昌 裕
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義。講義内容は毎回プリントに明記して配布する。	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	医療専門職として高齢者とどのように接してゆくか、何ができ、何が困難かを考える一助とする。		
学 習 到 達 目 標	リハビリを支えるための老年医学の主要な概念と知識を一定レベルの水準を満たすように獲得すること。具体的には最終試験での受講者の過半数の者の正解率が75%に到ること。		
関 連 科 目	病理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭に入れておくこと。すると、講義全体の流れがわかるので、それを踏まえて次回の講義を受けることができる。これが準備学習を兼ねることになる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	老化と老年病の考え方、生理機構の加齢変化	老化とは、加齢による生理機能の低下と疾病、老年症候群と機能評価、理学・作業療法との関連事項、感覚機能、自律機能、高次神経機能の加齢変化	
2	運動機能と精神心理面の加齢変化 高齢者に特徴的な症候と疾患、老年症候群	高齢者の運動機能、運動機能の加齢変化、知能の障害発達、記憶の加齢変化、人格、老年期の創造性の特徴 老年症候群の概念、代表的な老年症候群	
3	循環器疾患、呼吸器疾患 消化器疾患	循環器疾患:うっ血性心不全、虚血性心疾患、脳血管障害、血圧異常、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、血管疾患、呼吸器感染症、誤嚥と誤嚥性肺炎、肺癌、閉塞性肺疾患、間質性肺炎 高齢者の消化器癌、上部消化管疾患、腸疾患、肝疾患、胆道・膵疾患	
4	骨運動器疾患 精神神経疾患	骨粗鬆症、変形性関節症、後縦靭帯骨化症、関節リウマチ 精神神経機能の老化、老年痴呆、うつ病、パーキンソン病、多系統萎縮症と自律神経障害、末梢神経障害	
5	内分泌代謝疾患、血液・免疫疾患 腎・泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患 感染症、高齢者との接し方	糖尿病、高脂血症、甲状腺疾患、痛風、貧血、白血病と骨髄低形成症候群、多発性骨髄腫、膠原病、 腎不全、尿路感染症、前立腺疾患、皮膚疾患、口腔疾患 高齢者の感染症の原因と特徴、診断の進め方、治療の留意点、臓器別感染症の特徴、院内感染対策と MRSA、高齢者との接し方:医療従事者の心得、患者・家族とのかかわり	
6	高齢者の機能評価 高齢者の退院支援 高齢者の定義および人口動態	高齢者の機能評価の意義、日常生活活動度の評価、知的機能の評価、QOL の評価 高齢者における退院支援の必要性、介護保険下の退院支援、高齢者の定義、世界と日本における人口動態	
7	社会学・経済学から見た高齢社会、高齢者の医療・看護・介護・福祉・保険	高齢社会の問題とは、生産人口、生産能力、健康度分布、世代間問題、高齢者の医療、看護、介護・福祉、介護保険制度、老人保健	

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
8	高齢者のリハビリテーション まとめ	高齢者のリハビリテーションの考え方、理学療法、作業療法、 言語療法のまとめ	

教科書	使用しない
参考書	特になし

授 業 科 目 名	遺 伝 と 病 気	単 位 認 定 者	川 口 竜 二
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義・演習	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	遺伝現象、発生について分子生物学的側面と、遺伝子に起因する病気に関する基礎知識を習得する。		
学 習 到 達 目 標	ヒトの遺伝学および分子遺伝学の基礎知識を修得し、遺伝子自体およびその異常が遺伝性疾患や体質に与える影響について理解する。		
関 連 科 目	遺伝子検査学、遺伝子検査学実習、遺伝子工学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験50%、出席態度30%、課題レポート成績20%を加味して評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	遺伝と遺伝子	遺伝子とは 遺伝子の発現 遺伝子の継代	
2	細胞の構造と機能	細胞周期 細胞分裂	
3	染色体の構造と機能	染色体の形態 染色体異常	
4	遺伝子の基礎	核酸の構造 核酸の代謝	
5	遺伝子の構造	遺伝情報・伝達 遺伝子変異	
6	遺伝子の機能	遺伝子の損傷と修復	
7	血液疾患	白血病 悪性リンパ腫	
8	固形腫瘍	悪性腫瘍(がん) 家族性腫瘍	
9	遺伝性疾患	単一遺伝子疾患 多因子疾患	
10	生活習慣病	ファーマコゲノミクス	
11	感染症	抗酸菌、MRSA HIV, HCV, HBV	
12	遺伝医療	発症前診断、保因子検査	
13	染色体検査法、課題設定	染色体の分類と命名法	
14	課題発表、課題設定	プレゼン技法、討論	

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
15	課題発表、まとめ(予備日)	プレゼン技法、討論、まとめ	

教科書	遺伝子・染色体検査学(臨床検査学講座)、奈良信雄、他:医歯薬出版(株)、2013.
参考書	遺伝子検査学(標準臨床検査学)、宮地勇人・横田浩充:医学書院、2013.

授 業 科 目 名	免 疫 学	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(fujita@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	生体内防御反応機構などの免疫のシステムの基礎知識、および免疫異常による疾患の特徴などを学ぶ。さらに、感染症の基礎知識、特徴、感染経路、臨床的経過などについても学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然免疫、獲得免疫について説明できる。 2. 免疫グロブリンの種類と特徴、および免疫応答について説明できる。 3. 補体の成分と活性化経路、および機能について説明できる。 4. 感染症、性感染症、HIV 感染症の特徴、および感染経路について説明できる。 5. 肝炎ウイルスの種類と特徴について説明できる。 6. アレルギーの種類と特徴について説明できる。 7. 自己免疫疾患と自己抗体との関連性について説明できる。 8. 免疫不全症の種類、および特徴について説明できる。 9. 急性期蛋白質、温度依存性蛋白質の種類、および M 蛋白血症の特徴と臨床的意義について説明できる。 		
関 連 科 目	内科学、遺伝と病気、免疫検査学、微生物検査学、ウイルス検査学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	中間テスト 30%、定期試験 50%、小テスト 10%、受講態度 10%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。また、授業回数の 3 分の 1 以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。試験形態は筆記試験とする。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション 免疫学序論	イントロダクション、自己と非自己の識別、免疫に関与する細胞、組織、器官	臨床免疫学 1 生体防御の仕組み
2	免疫システム概論	自然免疫、獲得免疫	A 免疫系による生体防御、B 免疫担当細胞、組織、細胞、C 免疫の成立と調節
3	抗原	抗原の定義、分類、抗原性を発揮するための条件	D 抗原
4	抗体(1)	免疫グロブリンの構造、分類、特徴	E 抗体(免疫グロブリン)
5	抗体(2)	免疫グロブリンの多様性と抗原マーカー、一次免疫応答、二次免疫応答	E および C の h 一次・二次免疫応答
6	補体	補体の定義、成分、活性化経路、臨床的意義	F 補体
7	性感染症	性感染症(梅毒、クラミジア)、ツツガムシ病、マイコプラズマ肺炎	3 免疫と疾患の関わり A 感染防御免疫 B 感染症の免疫学的検査
8	HIV 感染症/AIDS	HIV 感染症と AIDS、HIV の感染経路、診断、臨床的経過	
9	肝炎ウイルス(1)	A 型、B 型肝炎ウイルスの特徴、診断、臨床的経過	E 免疫不全
10	肝炎ウイルス(2)	C 型、D 型、E 型肝炎ウイルスの特徴、診断、臨床的経過	B 感染症の免疫学的検査
11	アレルギー	I 型、II 型、III 型、IV 型、V 型アレルギーの発生機序、特徴	B 感染症の免疫学的検査
12	自己免疫疾患	自己免疫疾患の定義、分類、自己抗体と臨床的意義	F アレルギー
13	免疫不全症	B 細胞不全症、T 細胞不全症、複合型不全症の分類と特徴、二次免疫不全症の分類と特徴	G 自己免疫 E 免疫不全
14	血清蛋白異常症(1)	血清蛋白総論、血清蛋白異常症のスクリーニング検査	I 異常免疫グロブリン症

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
15	血清蛋白異常症(2)	M 蛋白血症の特徴	I 異常免疫グロブリン症

教 科 書	窪田哲郎, 他: 臨床検査学講座「免疫検査学」(医歯薬出版) 藤田清貴: 臨床検査で遭遇する異常蛋白質-基礎から発見・解析法まで(医歯薬出版)
参 考 書	高津聖志, 他(監訳): 免疫学イラストレイテッド(南江堂) その他, 必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	カ ウ ン セ リ ン グ	単 位 認 定 者	森 慶 輔
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	主に講義による	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	患者とその家族に関わるにあたっての心理社会的問題について理解するとともに、その心理社会的問題を解決するために医療スタッフが行うべきことについて理解を深める		
学 習 到 達 目 標	受容的態度・共感的理解による患者とその家族との良好な関係の構築、患者とその家族の抱える問題の評価、患者とその家族の抱える問題のマネジメントに関する知識・技術を習得する		
関 連 科 目	すべての科目と関連		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業への参加態度と発表内容(おおむね 50%)、課題レポート(おおむね 50%)を総合的に評価する		
準 備 学 習 の 内 容	第9回～第11回でプレゼンテーションを行うため、事前に発表用資料を準備しておくこと(配付資料およびパワーポイント)		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス	講義全体の説明	
2	患者という体験の理解	「患者」とはどういう存在なのかを理解する	
3	患者を襲う不安と恐怖	患者を襲う不安と恐怖を理解する	
4	病期別にみた患者の心理の特徴	病期別にみた患者の心理の特徴を理解する	
5	ライフサイクルからみた患者の心理	ライフサイクルの視点から患者の心理を理解する	
6	各種療法を受ける患者の心理	各種療法を受ける患者の心理を理解する	
7	長期入院患者の心理	長期入院患者の心理を理解する	
8	在宅療養中の患者の心理	在宅療養中の患者の心理を理解する	
9	患者・家族の手記を読む①	患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	
10	患者・家族の手記を読む②	患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	
11	患者・家族の手記を読む③	患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	
12	ガン・エイズとカウンセリング	ガン・エイズ患者への心理的援助の実際を知る	
13	治験とカウンセリング	治験における心理的援助の実際を知る	
14	遺伝医療とカウンセリング	遺伝医療における心理的援助の実際を知る	
15	生殖医療とカウンセリング	生殖医療における心理的援助の実際を知る	

教 科 書	● 坂本真佐哉・東豊・和田憲明「心理療法テクニックのススメ」金子書房, 2001年
参 考 書	● 矢永由里子ほか「がんとエイズの心理臨床: 医療にいかすところのケア」創元社, 2013年 ● 有田悦子「臨床試験に関わる医療者のための医療心理学入門ー適切なインフォームドコンセント実現のために」メディカル・パブリケーションズ, 2011年 ● 玉井真理子「遺伝相談と心理臨床」金剛出版, 2005年 ● 久保春海「不妊カウンセリングマニュアル」メジカルビュー社, 2001年 ● アステラス製薬エッセイコンテスト事務局「病気が教えてくれたこと」文藝春秋企画出版部, 2010年 ● 酒巻哲夫・林田素美「患者の声を聞く」篠原出版新社, 2013年

授 業 科 目 名	リハビリテーション概論	単 位 認 定 者	松 澤 正
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	リハビリテーションは、障害を持った者が社会復帰するための過程であり、障害を持った者が、どのような理念で、また、どのような手順で社会復帰するか講義を通して理解させる。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	木曜日:12:10-13:00 (場所:研究室)
科 目 の 目 的	リハビリテーションにおける医学的、教育的、職業的、社会的リハビリテーション領域の目的、対象、方法を通して、リハビリテーションの中での理学療法士や看護師の位置づけや役割を理解させる。		
学 習 到 達 目 標	リハビリテーション医療の中での理学療法士や看護師の役割を理解し、実践できるようになることを目標にする。		
関 連 科 目			
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	筆記試験やレポート等を総合して評価する。 試験 80%、授業態度 20%		
準 備 学 習 の 内 容	障害や福祉に関する用語を調べ学習しておく できれば障害や福祉施設でボランティア活動をする		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	リハビリテーションの定義、理念、歴史	リハビリテーションの定義、理念、歴史	
2	障害論	障害論	
3	障害者の心理	障害者の心理	
4	リハビリテーションの構成	リハビリテーションの構成	
5	医学的リハビリテーション	医学的リハビリテーション	
6	チーム医療とリハビリテーション医療の進め方	チーム医療とリハビリテーション医療の進め方	
7	地域リハビリテーション	地域リハビリテーション	
8	リハビリテーションにおける評価学	リハビリテーションにおける評価	
9	治療学、症例	治療、症例	
10	教育的リハビリテーション	教育的リハビリテーション	
11	職業的リハビリテーション	職業的リハビリテーション	
12	社会的リハビリテーション	社会的リハビリテーション	
13	社会的リハビリテーション	社会的リハビリテーション	
14	寝たきり老人のリハビリテーション	寝たきり老人のリハビリテーション	
15	認知症のリハビリテーション	認知症のリハビリテーション	

教 科 書	使用しない(プリント教材を使用する)
参 考 書	「入門リハビリテーション概論」中村隆一(医歯薬出版) 「現代リハビリテーション医学」千野直一(金原出版)

授 業 科 目 名	臨 床 心 理 学	単 位 認 定 者	森 慶 輔
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	主に講義による	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する		
学 習 到 達 目 標	臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する		
関 連 科 目	すべての科目と関連		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	期末試験(おおむね 50%)、課題レポート(おおむね 20%)と授業毎の小レポート(おおむね 30%)を総合して評価する予定である		
準 備 学 習 の 内 容	教科書の該当部分を読んでおく		

回	講 義 題 目	講 義 題 目	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス	講義全体の説明	
2	臨床心理学の基礎 1	人間の問題行動はどのように捉えられるのか、正常と異常の区別の観点から考える	
3	臨床心理学の基礎 2	人間の発達を概観し、発達段階と疾病・障害の関係について理解する	
4	臨床心理学の基礎 3	保健医療領域における問題行動について、主に転移・逆転移と防衛機制について理解する	
5	臨床心理アセスメント 1	心理領域のアセスメントについて、その目的、方法と限界を理解する	
6	臨床心理アセスメント 2	日本で広く使われている心理検査について理解するとともに、いくつかの心理検査について実際に体験してみる	
7	心理(精神)療法 1	S,Freud の精神分析について、その基本的な考え方を理解する	
8	心理(精神)療法 2	C,R,Rogers のクライエント中心療法について、その基本的な考え方を理解する	
9	心理(精神)療法 3	学習心理学と行動療法について、その基本的な考え方を理解する	
10	心理(精神)療法 4	応用行動分析について、その基本的な考え方を理解する	
11	心理(精神)療法 5	認知行動療法について、その基本的な考え方を理解する	
12	心理(精神)療法 6	家族療法／短期療法について、その基本的な考え方を理解する	
13	患者・家族の心理 1	医学の発展が人間に及ぼす影響について考える	
14	患者・家族の心理 2	医学の発展が人間に及ぼす影響について考える	
15	患者・家族の心理 3	医学の発展が人間に及ぼす影響について考える	

教 科 書	● 山祐嗣・山口素子・小林知博 編著「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」北大路書房, 2009 年 ● 鎌田實「言葉で治療する」朝日新聞出版, 2009 年
参 考 書	適宜講義内で紹介する

授 業 科 目 名	国 際 医 療 協 力 論	単 位 認 定 者	辻 村 弘 美
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義、グループワーク	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	国際協力の目的や意義を理解し、保健医療の視点から国際協力などのあり方を考えることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 国際協力の歴史的な経緯と最近の動向が理解できる 2. 保健医療協力の必要性とその対策が理解できる 3. 国際保健医療の現状及び課題が理解できる 4. 保健医療協力の現場で自分ができる国際協力活動とは何かを考えることができる		
関 連 科 目	関連する教養科目ーボランティア活動論 関連する専門基礎科目ーチーム医療論、公衆衛生学、医療統計学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験・レポート(80%)、授業への参加態度(20%)		
準 備 学 習 の 内 容	日常生活の中で国際保健や国際医療に関する報道について興味をもっており、積極的にグループワークなどに参加して欲しい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	授業ガイダンス及び 国際医療協力総論1	1. 国際協力の歴史とその変遷 被援助国時代から援助供与国になるまで 2. 日本の国際協力の流れ 二国間援助(無償資金協力,技術協力,有償資金協力)と多 国間援助 3. 国際協力に関わる機関、GO、NGO などの援助機関 (JICA、厚生労働省、外務省、WHO、UNICEF、NGO 等 などの役割について	IX章 公衆衛生学 8 国際保健 A 国際機関・医療協力 a 世界保健機構(WHO) b 国際連合(UN) c 国際協力機構(JICA)
2	国際医療協力総論2	1. なぜ国際協力が必要なのか ・世界のさまざまな格差 ・わが国が受けた支援 ・ODA大綱の基本理念と原則 2. プライマリ・ヘルスケア(PHC)について ・PHC の基本原則と意義 ・PHC の展開と現状	
3	国際医療協力総論3	1. ミレニアム開発目標(MDGs)について ・保健医療分野における意義と重要性 ・MDGs の進捗状況 ・MDGs の課題と展望	6 健康の保持増進 C 母子保健 a 母子保健の指標
4	国際保健医療の現状 及び課題1	1. 先進国と開発途上国について 2. 貧困とは 3. 栄養問題 4. 環境問題	5 環境と健康 A 地球環境 a 地球環境問題 6 健康の保持増進 A 栄養保健 a 栄養欠乏・栄養過剰
5	国際保健医療の現状 及び課題2	1. 感染症について ・ポリオ、麻疹根絶活動 ・マラリア、下痢症、結核	8 国際保健 B 世界の保健状況 a 世界の人口 b 死亡統計 c 感染症の実態
6	国際保健医療の現状 及び課題3	1. HIV/AIDS 2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	
7,8	国際保健医療の実際 1,2	(外部講師による講義予定) 1. 国際協力活動,青年海外協力隊活動 2. 環境保全活動への取り組み など	5 環境と健康 A 地球環境 a 地球環境問題

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
9	国際保健医療の実際 3	1. NGO における医療や環境への取り組み(DVD) 2. 国際緊急援助活動	IX章 公衆衛生学 8 国際保健 A 国際機関・医療協力 c 国際協力機構(JICA) 1 医学概論 C 医療と社会の状況 c チーム医療
10	グローバル社会と医療 1 (講義)	1. 在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズムなど	
11	グローバル社会と医療 2 (グループワーク)	1. 在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズムなどに関する現状を共有し、今後の課題などをディスカッションする。	
12	グローバル社会と医療 3 (グループワーク)		
13	グローバル社会と医療 4 (発表会)		
14	チーム医療におけるコミュニケーション	1. チーム医療の現状と課題	
15	国際医療協力に必要な資質 国際医療協力への道 まとめ	1. 国際医療協力に必要な資質とは 2. 国際保健医療関係の仕事や教育機関 ・GO,NGO などの紹介 ・国際保健医療関係の大学院	

教科書	「国際保健医療学」日本国際保健医療学会(杏林書院)
参考書	「バッシュ国際保健学講座」ポールバッシュ(じほう) 「国際保健・看護」丸山英二,森口育子編(弘文堂) 「Where There Is No Doctor」David Werner with Carol Thuman and Jane Maxwell 「国際保健医療のおしごと」中村安秀編(南山堂)

授 業 科 目 名	医 療 統 計 学	単 位 認 定 者	木 村 朗
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義・演習	オフィス・アワー	火 or 水 12:10~12:50(木村研究室)
科 目 の 目 的	医療・保健の現場で必要な判断を導くためにデータを活用する力の基礎を養うことが求められる。この基礎力とは個人毎の情報だけでは明らかにならない現象に対して集団の統計・推計・確率を利用することで原因となる要因を推定しうる能力である。この力を発展させ、根拠のある医療(EBM)の基本的実践に資する統計学的な考え方を追求しながら、コンピューターを使用して実際に自らデータを操作して得る結果のプロセスが理解することを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	医療統計の実践的課題について統計ソフトウェアを利用して、複雑な手続きを経ずとも正しく統計解析の遂行と解釈ができるリテラシー(実際のソフトウェアの操作能力と概念を用いる能力)の獲得		
関 連 科 目	情報処理、数学基礎、公衆衛生学、精度管理学、卒業研究		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	出席・授業態度 50%・課題遂行能力テスト 50%		
準 備 学 習 の 内 容	教科書の各単元に目を通し、分からない専門用語をチェックして、授業に臨むこと。教科書の単元にある例題を Web 上の kimuakilab.main.jp に記された統計ソフトを利用しながら、進行していくので、ノート PC を持参し、学内 LAN に接続して授業を受けて下さい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	医療統計のあらまし	日常生活と医療における統計を基に確率と統計を考える(次回の事前学習用課題呈示)	19 検査診断学総論 B 臨床検査性能評価 a 感度と特異度 b 陽性適的<中率 c 有病率 d 尤度比 e ROC 曲線 f カットオフ値 4 疫学 A 疫学の考え方 d バイアスとエラー、交絡因子 e 疫学と因果関係、Hill の基準 B 疫学指標、疫学調査法 b 縦断研究と横断研究、罹患率と有病率 c コホート研究、症例対照研究 d ランダム化比較対照試験<RCT> e 相対危険度、寄与危険度 f オッズ比 (平成 27 年度)
2	確率と統計 統計ソフト R	統計ソフト R とデータコーダー RG による、データセッティング	
3	データの整理1	度数分布・データの代表値・散布度	
4	データの整理2	平均値と標準偏差によるデータの推理・2変数の解析・関係式	
5	確率と分布	確率の意味、確率変数と分布、離散変数・連続変数の確率分布	
6	母集団と標本	母集団と標本、標本平均の分布、標本分散の分布	
7	検定1	検定 P 値とは、適合度の検定、独立性の検定	
8	検定2	分布の同一性の検定、比率の検定、比率の差の検定	
9	検定3	分散比の検定、平均値の検定、平均値の差の検定	
10	検定4	分散分析(1元配置)、相関係数の検定	
11	推定	推定、比率の推定、比率の区間推定比率の区間推定、平均値の区間推定	
12	感度と特異度	感度と特異度(web参照)	
13	尤度比と ROC 曲線	尤度比と ROC 曲線(web参照)	
14	カットオフ値	カットオフ値(web参照)	
15	研究デザインと統計手法	研究デザインと統計手法(web参照)	

教 科 書	医系の統計入門(第2版)森北出版
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	社会福祉・地域サービス論	単 位 認 定 者	金 谷 春 代
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義終了後
科 目 の 目 的	福祉制度が存する意義を確認し、専門職として基礎的な知識を持つことを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	福祉制度全般について知ることと日本の社会で確立されている福祉サービスの実際を知ること。		
関 連 科 目	地域社会学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	筆記試験(70%)に平常点(30%)を加味して評価する。小レポートを課す場合もある。		
準 備 学 習 の 内 容	前回までの授業の内容を十分理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	福祉の捉え方	福祉とは何か	
2	福祉の社会的背景	福祉制度の成立から地域福祉への時間経過と社会の変化について	
3	地域福祉の考え方	福祉サービス提供の「場」について	
4	地域福祉の内容と展開		
5	サービスの実際Ⅰ	福祉サービスの種類と内容について 具体的なサービスについて理解する	
6	サービスの実際Ⅱ		
7	サービスの資源と財源	サービスにおける費用の仕組みについて	
8	介護保険制度成立の意義と現状課題	介護保険制度成立の意味と経過について理解し、実際の制度運用と介護保険の現状を捉える	
9	医療保険制度成立の意義と現状課題	医療保険制度の意味と現状課題について理解する	
10	地域福祉と保健医療	地域における保健医療・福祉のあり方	
11	地域福祉における権利擁護	「権利擁護とは何か」	
12	地域福祉における専門職	福祉にかかわる専門職と役割分担	
13	地域福祉における専門技術	地域福祉展開における専門技術とは	
14	地域福祉ネットワークの事例	「利根沼田在宅ネットワークの会」立ち上げの意味と目的	
15	まとめ		

教 科 書	使用しない
参 考 書	「介護保険時代の医療福祉総合ガイドライン」(医学書院) 「社会福祉六法」 「国民の福祉の動向」

授 業 科 目 名	生 理 機 能 検 査 学	単 位 認 定 者	古 田 島 伸 雄
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義・演習	オフィス・アワー	講義終了後
科 目 の 目 的	生理機能検査は生体の様々なシグナルを循環器系、呼吸器系、神経・筋系および画像診断検査を用いて捉えることにより、疾患における病態を把握する検査である。これらの検査を理解するための基礎理論、測定方法、検査結果の判定ならびに評価方法について学習し、疾病との関連を理解する。また、検査に必要な検査機器の仕様とメンテナンスおよび検査を行う上での患者への接し方や患者急変時の対応などを習得する。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器系検査(心電図・心音図・脈波)の原理と波形が表す臨床的意義を理解し、正常波形と循環器疾患における異常波形について説明できる。 2. 呼吸器系検査(スパイロメトリ・ガス代謝・血液ガス等)の原理と臨床的意義を理解し、呼吸器疾患との関連について説明できる。 3. 筋・神経系検査(脳波・筋電図)の原理と臨床的意義を理解し、疾患に特有な波形について説明できる。 4. 画像診断検査(心臓および腹部超音波検査)の原理と臨床的意義を理解し、疾患における異常像の特徴について説明できる。 		
関 連 科 目	臨床心理学、医用電子工学、生物学基礎、生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、病理学、関係法規		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験 90%、平常点 10%		
準 備 学 習 の 内 容	教科書の各回講義内容に該当するところをよく読んでから、授業に臨んでください。		

	講 義 題 目	講 義 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
			臨床検査技師
1	生理機能検査総論	生理機能検査学概念と歴史、生理検査と資格制限、生理機能検査の検査機器と注意事項、患者への接し方や患者急変時の対応	Ⅲ章 臨床生理学 1-A 1-B
2	循環器系検査・心電図	心電図の基礎Ⅰ：循環生理、心臓の構造と機能、心電図の原理、心電計の構成と取り扱い方	2-A
3	心電図(2)	心電図の基礎Ⅱ：心電図の誘導法、心電図の測定法、電気軸、正常心電図、アーチファクト	2-B 3-A
4	心電図(3)	異常心電図(不整脈、左右心房負荷、心肥大、狭心症、心筋梗塞、電解質異常)	3-B
5	心電図(4)	その他心電図(負荷心電図、ホルター心電図、加算平均心電図、ベクトル心電図など)	3-C, 3-D, 3-E, 3-F
6	循環器系検査・心音図	心音図：心音図の基礎、正常心音および心雑音の発生機序、異常心音図	4-A, 4-B
7	循環器系検査・脈波	脈波：脈波の基礎と種類、足関節上腕血圧比(ABI)、脈波伝搬速度(PWV)	5-A
8	循環器系検査まとめ	循環器系の検査まとめ	
9	呼吸器系検査・呼吸生理の基礎	呼吸器の構造と機能・ガス代謝、呼吸機能検査の臨床的意義、検査機器の仕組みと原理、記号および単位	6-A
10	呼吸器系検査・換気機能検査	換気力学の概念、スパイロメトリとフローボリューム 残気量、静肺コンプライアンス、気道抵抗と呼吸抵抗 呼吸機能検査の検査法と評価法	7-A 7-E
11	呼吸器系検査・肺胞換気機能検査	クロージングボリューム曲線、拡散能、シャント	7-A
12	呼吸器系検査・動脈ガス分析	血液ガス分析の目的と測定原理、検体の取り扱い方 血液ガス分析の評価と酸塩基平衡、パルスオキシメータ	7-B 7-C
13	呼吸器系検査・基礎代謝検査	基礎代謝の定義と検査法、呼気ガス分析、運動負荷試験	7-B

講義題目		講義内容	国家試験出題基準
			臨床検査技師
14	呼吸器系検査まとめ	換気能・肺胞機能・基礎代謝まとめ	7-E
15	神経・筋系検査・脳波	脳の構造と機能、脳波の発生機序、脳波の臨床的意義、脳波計の原理と導出法、脳波検査法、脳波賦活法	8-C, 9-A
16	脳波(2)	正常脳波(年齢による変化、睡眠脳波)、異常脳波、終夜睡眠ポリグラフィ	7-D, 9-B
17	神経・筋系検査・誘発電位	視覚誘発電位(VEP)、聴覚誘発電位(AEP)、聴性脳幹反応(ABR)、体性感覚誘発電位(SEP)	9-C
18	脳波・誘発電位まとめ	神経・筋系検査・脳波・誘発電位まとめ	
19	神経・筋系検査・筋電図	筋電図の基礎(運動神経系と感覚神経系)筋電図検査の臨床的意義、筋電図検査法(針筋電図と表面筋電図)	8-A, 8-B 10-A, 10-B
20	誘発筋電図	末梢神経伝導速度(運動神経伝導検査、F波伝導検査)、誘発筋電図、筋電図検査の注意点	10-C, 10-D, 10-E
21	筋電図まとめ	神経・筋系検査・筋電図まとめ	
22	画像診断検査・超音波検査	超音波検査の概要、原理と測定法、超音波の性質、深触子と走査方法、アーチファクト	11-A
23	腹部超音波検査法	腹部超音波検査法(正常像)	13-A
24	心臓超音波検査法	心臓超音波検査法(正常像)	12-B
25	その他の超音波検査法	その他の超音波検査法、各超音波検査の正常像と異常像	14-A, B, C, D, E
26	各疾患の超音波検査画像	各疾患の超音波検査画像	12-B 13-B
27	超音波検査まとめ	画像診断検査・超音波検査まとめ	
28	画像診断検査・磁気共鳴画像検査(MRI)	MRIの原理と臨床的意義、検査機器と検査の注意点、MRI造影剤、MRI正常像と異常像	15-A 15-B, 15-C
29	その他生理検査	眼底検査、聴覚機能検査、熱画像検査	16-A, 16-B, 16-C, 16-D
30	生理学的検査まとめ	生理学的検査まとめと生理学的検査の展望	

教科書	大久保 善朗 ほか:臨床検査学講座 第3版 生理機能検査学 (医歯薬出版株式会社)
参考書	必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	医 用 電 子 工 学	単 位 認 定 者	川 口 竜 二
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義・演習	オフィス・アワー	授業の前後
科 目 の 目 的	物理現象や電気回路など、身の回りに存在する電気現象や電気設備を理解し、日常生活で体験する体温・血圧測定など、生体から計測する物理量との関わりについて、臨床検査技師として最低限必要な医用工学における基礎知識の習得を目標とする。		
学 習 到 達 目 標	臨床検査における医用工学の役割と環境について理解し、回路や増幅器の特性を理解し、医用システム安全工学の基礎を習得し、医用機器や病院電気設備の電气的安全対策について説明できる。		
関 連 科 目	医用電子工学実習		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験50%、出席・授業への取り組み30%、課題レポート成績20%		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	医用電子工学とは	講義概要説明、臨床検査に必要な医用工学の基礎知識体系について	(X 章 医用工学概論)
2	電気・電子の基礎	電荷と電場、静電誘導、オームの法則、キルヒホッフの法則	X-2-A
3	電子回路1	増幅器、発信回路	X-2-B
4	電子回路2	電源回路、デジタル回路	X-3-A, B
5	データの記録	生体信号の記録、記録器の原理	X-4-C
6	データの表示装置	表示器の原理と実際	X-4-C
7	生体の性質1	生理的、電气的性質	X-1-B
8	生体の性質2	物理的、機械的性質	X-1-B
9	生体からの情報収集1	生体情報の計測、電気現象と検出電極	X-4-A, B
10	生体からの情報収集2	物理・化学現象と変換器	X-4-A, B
11	通信情報処理1	コンピュータと情報処理	X-7-A, B
12	通信情報処理2	検査情報システムとその条件	X-7-C, D
13	医用機器1	電極を用いる検査機器	X-7-B
14	医用機器2	画像診断装置	X-6-A, B
15	安全対策、まとめ	医療機器と安全	X-5-C, D

教 科 書	臨床検査学講座・医用工学概論(医歯薬出版)
参 考 書	医用工学入門(コロナ社)

授 業 科 目 名	医 用 電 子 工 学 実 習	単 位 認 定 者	川 口 竜 二
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (2 2 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	実 習 ・ 講 義	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	授 業 の 前 後
科 目 の 目 的	医用電子工学で学んだ基礎知識を、実験を通して理解する。実験レポートの書き方を学ぶことを主目標とするとともに、思考力、表現力を養う。測定操作と測定値の処理に知識とテクニックを必要とする。		
学 習 到 達 目 標	医用電子工学で学んだ知識の確認、検査数値の読み方、実験レポートの書き方を学び理解する。		
関 連 科 目	医用電子工学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	課題ごとのレポート50%、授業参加30% 発表20%		
準 備 学 習 の 内 容	関連科目で使用する教科書等を参考に、実験の中で出るキーワードを理解する。テキスト(実習書)を事前に読み、自身の実験ノートを作成する。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	実習の初めに、計測機の取り扱い	電気回路実験の一般的な注意	(X 章 医用工学概論)
2	電気回路・測定の基礎	オームの法則、キルヒホッフの法則	X-2-A
5	オシロスコープの操作	電圧・周波数の測定、図形変化の観察	X-2-A
6	C-R 回路の過度応答特性と周波数特性	過度応答特性の測定、微分・積分回路の周波数特性の測定	X-2-C
10	LCR 直列回路の基本過渡応答特性	直流・交流回路中のコイルとコンデンサの性質を考える	X-2-C
11	半導体(ダイオード)の特性	直流電流・電圧特性、整流特性	X-2-D
15	トランジスタの静特性 電界効果トランジスタ(FET)の特性	出力・入力特性 静特性の測定	X-2-D X-2-D
16	演算増幅器(オペアンプ)を用いた増幅回路	位相反転増幅回路 非反転増幅回路	X-3-A
21	記録器の特性	レコーダの高域周波数特性	
22	トランスデューサ(変換器)	サーミスタの温度特性、光伝導セル特性	X-4-A
23	安全と雑音 まとめ	ME 機器の安全対策	X-5-C, D

教 科 書	臨床検査学講座・医用工学概論(医歯薬出版)
参 考 書	医用工学入門(コロナ社)

授 業 科 目 名	臨 床 検 査 学 総 論	単 位 認 定 者	高 橋 克 典
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ロ ー	講義終了後
科 目 の 目 的	医療における臨床検査の役割と使命を自覚し、臨床検査技師の心構えや基礎的検査技術を学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	臨床検査技師としての専門的技術や知識への導入として基本的検査技術を習得する。		
関 連 科 目	生化学、生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	事前に教科書に目を通しておく。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
			臨床検査技師
1	医療における臨床検査技師の役割と使命	臨床検査の歴史、病院組織とそれぞれの部門の機能について述べると共に、臨床検査技師の役割および業務内容について学習する。	I-検査総合管理学-1-A I-検査総合管理学-1-B I-検査総合管理学-3-B I-検査総合管理学-3-C
2 3	採血法	臨床検査技師が法的に許されている採血の範囲および採血の種類について解説する。	I-検査総合管理学-5-A
4 5	検体の取り扱い法 尿検査概論 ～尿検査入門～	臨床検査の対象となる検体の種類とその取り扱い方法について学ぶ。また、尿検査の種類と臨床的意義を概説する	I-検査総合管理学-5-B I-検査総合管理学-5-C I-生物化学分析検査学-1-A I-生物化学分析検査学-1-B I-生物化学分析検査学-1-C
6 7	尿検査各論 ～尿の定性検査～	尿の一般的性状、採取方法、保存方法を理解したうえで、尿定性試験について学習する。	I-生物化学分析検査学-1-A I-生物化学分析検査学-1-B
8 9	尿検査各論 ～尿の化学的検査～	尿中化学成分の種類について理解し、それぞれの化学成分の測定原理について学習する。	I-生物化学分析検査学-1-B
10 11	顕微鏡の取り扱い方 尿中有形成分の観察法	顕微鏡は正しい使い方、管理の仕方について講義する。また、顕微鏡による尿中有形成分の観察法を概説する。	V-形態検査学-2-Q-a
12 13	尿検査各論 ～尿沈渣入門～	尿沈渣標本の作製法、染色法、観察法、記載法などの基本事項を理解したうえで、健常人の尿中有形成分を中心に学習する。	I-生物化学分析検査学-1-C
14 15 16	尿検査各論 ～尿中有形成分の種類と病態との関係～	尿中有形成分にどのようなものがあるのか、またそれらの成分が病態とどのように関連するのかを学習する。	I-生物化学分析検査学-1-C
17 18 19	尿検査各論 ～尿中有形成分の同定トレーニング～	尿中有形成分の画像使って、同定トレーニングを実施する。	I-生物化学分析検査学-1-C
20	尿検査各論	自動分析装置で測定可能な尿中有形成分の種類および装置の測定原理について学習する。	I-生物化学分析検査学-1-A

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準
			臨床検査技師
21	～尿中成分の自動分析装置～		I-生物化学分析検査学-1-B I-生物化学分析検査学-1-C
22 23	便検査	便検査の中でも大腸がんの検診や消化管出血の有無を検索するために重要な便潜血反応の化学的方法や免疫学的方法について学習する	I-生物化学分析検査学-3-A I-生物化学分析検査学-3-B I-生物化学分析検査学-3-C
24 25	髄液検査	脳脊髄液の理学的検査, 細胞学的検査および臨床的意義について解説する	I-生物化学分析検査学-2-A I-生物化学分析検査学-2-B I-生物化学分析検査学-2-C I-生物化学分析検査学-2-D
26 27	穿刺液検査	胸水, 腹水, 関節液など体腔に貯留した液に関する検査および浸出液であるか濾出液であるかの鑑別方法について解説する	I-生物化学分析検査学-5-D I-生物化学分析検査学-4-A I-生物化学分析検査学-4-B
28 29 30	胃液・その他の体液検査	胃液の酸度測定、十二指腸液の胆汁検査、その他について解説する。	I-生物化学分析検査学-5-A I-生物化学分析検査学-5-B I-生物化学分析検査学-5-C I-生物化学分析検査学-2-E

教科書	臨床検査講座第3版「臨床検査総論」(医歯薬出版)
参考書	カラーアトラス尿検査 月刊 Medical Technology 別冊(医歯薬出版)

授 業 科 目 名	臨 床 検 査 学 総 論 実 習	単 位 認 定 者	高 橋 克 典
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (4 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	実 習 ・ 講 義	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講 義 終 了 後
科 目 の 目 的	臨 床 検 査 技 師 と し て の 自 覚 を 持 ち 、 基 本 的 な 検 査 技 術 を 習 得 す る		
学 習 到 達 目 標	臨 床 検 査 の 基 本 的 技 術 の 習 得		
関 連 科 目	生 化 学 生 理 学 臨 床 検 査 学 総 論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定 期 試 験 (3 0 %) 、 実 習 レ ポ ー ト (6 0 %) 、 出 席 率 (1 0 %)		
準 備 学 習 の 内 容	教 科 書 の 実 習 範 囲 お よ び 実 習 説 明 書 に 目 を 通 し て お く 。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
			臨 床 検 査 技 師
1 2 3	尿定性検査実習オリエンテーション	尿定性検査の意義、原理、注意点などを解説したうえで尿定性検査実習の流れ、実施方法などを確認する。	I-検査総合管理学-5-A
4 5 6	尿定性検査実習(1) ～尿定性検査の基本～	自己尿を対象に、尿試験紙による定性試験を行い、判定法を習得する。既知濃度のタンパク標準液、糖、赤血球を添加した疑似尿を尿試験紙法で検査する。	I-生物化学分析検査学-1-A I-生物化学分析検査学-1-B
7 8 9	尿定性検査実習(2) ～偽反応の要因～	既知濃度のタンパク標準液、糖、赤血球を添加した疑似尿に様々な反応妨害物質を加え、尿定性試験の偽反応が起きる様子を観察する。	I-生物化学分析検査学-1-A I-生物化学分析検査学-1-B
10 11 12	尿定性検査実習(3) ～尿定性試験管法～	疑似尿を用いて尿定性試験管法を実施し、尿蛋白および尿糖を検出する。さらに、高アルカリ尿、還元物質などの尿定性試験管法に対する影響について検討する。	I-生物化学分析検査学-1-A I-生物化学分析検査学-1-B
13 14 15	尿沈渣検査実習(1) ～顕微鏡の使い方～	尿沈渣検査の手技や尿中有形成分と病態との関連などを解説したうえで尿沈渣検査実習の流れ、実施方法などを確認する。顕微鏡の正しい使用方法および標本の観察方法について学習する。	I-生物化学分析検査学-1-C V-形態検査学-2-Q-a
16 17 18	尿沈渣検査実習(2) ～尿沈渣の基本～	尿沈渣の標本作成法や尿中有形成分の染色法など基本的な手技を習得する。	I-生物化学分析検査学-1-C
19 20 21	尿沈渣検査実習(3) ～自己尿の観察～	自己尿を用いて尿沈渣作成法および染色法を学習する。また、自己尿の尿沈渣を顕微鏡で観察し、尿沈渣の検査の流れを理解する。	I-生物化学分析検査学-1-C
22 23 24	尿沈渣検査実習(4) ～赤血球・白血球～	赤血球および白血球を添加した尿を作成し、尿定性試験(潜血反応・白血球反応)を実施後、尿沈渣を観察することで、定性検査結果と実際の血球数の関係を学ぶ。	I-生物化学分析検査学-1-C
25 26 27	尿沈渣検査実習(5) ～保存の影響～	赤血球および白血球を添加した尿を作成し、冷蔵および室温で24時間放置後、尿定性試験(潜血反応、白血球反応、亜硝酸塩還元能)および尿沈渣検査を実施する。これにより、保存法の違いに伴う尿検査結果への影響を観察する。	I-生物化学分析検査学-1-C
28 ～	尿沈渣検査実習(6) ～病的有形成分～	病的有形成分を含むスライド標本を顕微鏡で観察し、同定結果から病態を推定するトレーニングを行う。	I-生物化学分析検査学-1-C

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準
			臨床検査技師
33	尿沈渣検査実習(7) ～ 病態解析トレーニング ～	尿中有形成分と各種検査データから患者の病態を推定し、各グループ単位でプレゼンテーションを行う。	I-生物化学分析検査学-1-C
34		便検査の原理や臨床意義を解説したうえで便検査実習の流れ、実施方法などを確認する。赤血球を添加した疑似便を用いて、便潜血反応の手技および解釈方法を習得する。	I-生物化学分析検査学-3-A
35			I-生物化学分析検査学-3-B
36	I-生物化学分析検査学-3-C		
37	便検査実習	便検査の原理や臨床意義を解説したうえで便検査実習の流れ、実施方法などを確認する。	I-生物化学分析検査学-3-A
38			I-生物化学分析検査学-3-B
39			I-生物化学分析検査学-3-C
40	髄液検査実習オリエンテーション	髄液検査の原理や臨床意義を解説したうえで髄液検査実習の流れ、実施方法などを確認する。	I-生物化学分析検査学-3-A
41		白血球を添加した疑似髄液を用いて髄液検査の流れ、染色法、カウント法などを学習する。	I-生物化学分析検査学-2-D
42			
43	髄液検査実習		I-生物化学分析検査学-3-A
44		I-生物化学分析検査学-2-D	
45			

教科書	臨床検査講座第3版「臨床検査総論」(医歯薬出版)
参考書	カラーアトラス尿検査 月刊 Medical Technology 別冊(医歯薬出版)

授 業 科 目 名	精 度 管 理 学	単 位 認 定 者	亀 子 光 明
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	教科書, 資料, PowerPoint などを用いて指導する.	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義終了後, 事前の連絡により随時対応する(kameko@paz.ac.jp).
科 目 の 目 的	臨床検査における各種精度管理方法(内部精度管理・外部精度管理), 測定法の評価法, 基準値設定と基礎統計学の基礎を学ぶ.		
学 習 到 達 目 標	臨床検査の現場で, どのような精度管理手法が用いられ, また, その精度管理方法から何が分かるのかを理解し, 基準値の設定方法や各種測定法を評価する際に有用な統計方法を理解する.		
関 連 科 目	情報処理, 医療統計学, 臨床検査学総論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(80%), レポート・ミニテスト(15%), 出席点(5%)		
準 備 学 習 の 内 容	教科書をよく読み, 配布資料は復習を兼ねて読み直し講義内容を理解できるようにする.		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
			臨 床 検 査 技 師
1	精度管理とは	精度管理(quality control ; QC)の重要性とその目的について.	
2	精度管理概論 1	臨床検査領域での QC の実態把握, 統計学的手法に基づいた外部精度管理, 測定体系の確立と標準化, 精度保障	
3	精度管理概論 2	内部精度管理について	
4	精度管理概論 3	外部精度管理について	
5	精度管理各論 1	数の概念と単位, 測定誤差	
6	精度管理各論 2	生理的変動による基準範囲と誤差の許容限界	
7	精度管理各論 3	測定法の正確さ, 標準物質(定義・分類・認証)	
8	精度管理各論 4	内部精度管理法の実際	
9	精度管理各論 5	外部精度評価	
10	精度管理各論 6	各検査部門における精度管理方法	
11	精度管理と医学統計学 1	統計学の基礎	
12	精度管理と医学統計学 2	母集団と標本抽出	
13	精度管理と医学統計学 3	標本分布の表し方と分布型	
14	精度管理と医学統計学 4	分散分析, 相関と回帰	
15	精度管理と医学統計学 5	検定と推定	

教 科 書	臨床検査精度管理教本 社団法人日本臨床衛生検査技師会編集 (近代出版)
参 考 書	バイオサイエンスの統計学 市原清志 著 (南江堂) 臨床検査法提要 改定第 33 版 金井正光 監修(金原出版)

授 業 科 目 名	免 疫 検 査 学	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義, 演習	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(fujita@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	生体内防御反応機構や抗原抗体反応などの免疫検査学の基礎理論, および免疫学的分析法の原理やその測定意義を理解する。さらに, 具体的な検査項目についてその原理や特徴, および判定基準などを学び, 分析結果から病態を推測し, 解析の進め方や異常値に対応できるよう免疫検査学の知識を身につける。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗原抗体反応の原理と特徴, および地帯現象について説明できる。 2. 血清の分離法と保存法, および抗体の精製法について説明できる。 3. 沈降反応の機序と種類について説明できる。 4. オクタロニー法による沈降線を判読できる。 5. 凝集反応の機序と種類, および異常反応について説明できる。 6. 非標識抗原抗体反応と標識抗原抗体反応の原理と種類, および特徴について説明できる。 7. 免疫電気泳動法および免疫固定電気泳動法の原理と特徴を理解し, 沈降線から病態型を推測できる。 8. Western blotting 分析法の原理と特徴, および HIV の確認試験について説明できる。 9. 梅毒血清反応の種類と原理について理解し判定ができる。 10. リウマトイド因子測定法の原理と特徴について説明ができる。 11. 間接蛍光抗体法による抗核抗体検査の原理と特徴について理解し判定ができる。 12. 抗 DNA 抗体と抗 ENA 抗体検査測定法の原理を理解し判定ができる。 13. 腫瘍マーカーの種類と特徴, および疾患との関連性について説明できる。 14. Bence Jones 蛋白, クリオグロブリン, パイログロブリンの特徴およびその臨床的意義について説明できる。 15. 急性期反応蛋白の種類および CRP 測定法とその臨床的意義について説明できる。 16. 各種電気泳動パターンから病態を推測できる。 		
関 連 科 目	内科学, 遺伝と病気, 免疫学, 臨床化学検査学, 微生物検査学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	中間テスト 30%, 定期試験 40%, 小テスト 20%, 受講態度 10%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。また, 授業回数の 3 分の 1 以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。試験形態は筆記試験とする。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション 試験管内抗原抗体反応の基礎	試験管内抗原抗体反応の特徴, 交差反応, 最適比, 地帯現象, モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の反応性	臨床免疫学 2 抗原抗体反応による分析法 A 抗原と抗体の結合, B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
2	血清の分離, 蛋白質(抗体)の精製	血清の分離法, 保存法, 蛋白質(特に抗体)の精製法	4 免疫検査の基礎知識と技術 A 抗体の精製, D 血清・血漿の処理・保存
3	沈降反応(1)	沈降反応の機序, 種類, ゲル内免疫拡散法の特徴	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
4	沈降反応(2)	ゲル内免疫拡散法(オクタロニー法)による沈降線の判読	
5	グループ討論会: 沈降線の出方および判読(1)	各種抗原と抗体との組み合わせによる沈降線の出方および判読について(1)	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
6	グループ討論会: 沈降線の出方および判読(2)	各種抗原と抗体との組み合わせによる沈降線の出方および判読について(2)	
7	凝集反応(1)	凝集反応の機序, 種類, 特徴	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
8	凝集反応(2)	凝集反応における異常反応の種類と対策	
9	溶解反応, 補体結合反応, 中和	溶解反応, 補体結合反応, 中和反応の機序および特徴	2 抗原抗体反応による分析法

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
	反応		B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
10	非標識抗原抗体反応	免疫比濁法, 免疫比ろろ法, ラテックス凝集比濁法の原理および特徴	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
11	標識抗原抗体反応(1)	酵素免疫測定法の原理および特徴	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
12	標識抗原抗体反応(2)	発光免疫測定法, 蛍光免疫測定法, 免疫クロマトグラフィ法の原理および特徴	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
13	電気泳動法(1)	免疫電気泳動法の原理および特徴, 臨床的意義	5 免疫機能検査 A 液性免疫機能検査
14	電気泳動法(2)	免疫電気泳動法による各種病態型分類, M 蛋白血症の悪性判断基準	5 免疫機能検査 A 液性免疫機能検査
15	電気泳動法(3)	免疫固定電気泳動法の原理および特徴, 判読の仕方	5 免疫機能検査 A 液性免疫機能検査
16	電気泳動法(4)	Western blotting 法の原理および特徴, 判読の仕方	5 免疫機能検査 A 液性免疫機能検査
17	電気泳動法(5)	Western blotting 法による HIV の確認試験, 分子異常の判読	2 抗原抗体反応による分析法 B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用
18	梅毒血清反応	梅毒血清反応の種類, 原理, 判定基準	3 免疫と疾患の関わり B 感染症の免疫学的検査
19	リウマトイド因子	リウマトイド因子の測定法, 原理, 特徴, 問題点	3 免疫と疾患の関わり B 感染症の免疫学的検査
20	抗核抗体関連検査(1)	間接蛍光抗体法による抗核抗体検査の原理, 特徴, 判定基準	3 免疫と疾患の関わり G 自己免疫
21	抗核抗体関連検査(2)	抗 DNA 抗体, 抗 ENA 抗体検査の測定法, 原理, 判定基準	4 免疫検査の基礎知識と技術 B 免疫器具・機器の取り扱い 3 免疫と疾患の関わり G 自己免疫
22	腫瘍マーカー	腫瘍マーカーの種類, 特徴, 有用性	3 免疫と疾患の関わり D 腫瘍マーカー
23	温度依存性蛋白(1)	Bence Jones 蛋白の特徴, 臨床的意義	3 免疫と疾患の関わり
24	温度依存性蛋白(2)	クリオグロブリン, パイログロブリンの特徴, 臨床的意義	I 異常免疫グロブリン症 3 免疫と疾患の関わり I 異常免疫グロブリン症
25	急性期反応蛋白	急性期反応蛋白の種類, C 反応性蛋白(CRP)の特徴および測定法, 臨床的意義	3 免疫と疾患の関わり H 炎症と急性期反応物質
26	グループ討論:症例検討(1)	電気泳動パターンからの病態推測(1)	3 免疫と疾患の関わり H 炎症と急性期反応物質
27	グループ討論:症例検討(2)	電気泳動パターンからの病態推測(2)	3 免疫と疾患の関わり I 異常免疫グロブリン症
28	グループ討論:症例検討(3)	電気泳動パターンからの病態推測(3)	
29	グループ討論:症例検討(4)	電気泳動パターンからの病態推測(4)	
30	グループ討論:症例検討(5)	電気泳動パターンからの病態推測(5)	

教科書	窪田哲郎, 他: 臨床検査学講座「免疫検査学」(医歯薬出版) 藤田清貴: 臨床検査で遭遇する異常蛋白質-基礎から発見・解析法まで(医歯薬出版)
参考書	日本臨床検査学教育協議会: 免疫検査学実習書(医歯薬出版) その他, 必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	微 生 物 検 査 学	単 位 認 定 者	白 土 佳 子
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。
科 目 の 目 的	微生物を取り扱うための基礎知識を修得するとともに、微生物の形態学的・生化学的・生理学的な性状を理解できる。さらに、病原微生物が引き起こす感染症と、その原因菌の分離・同定法および抗菌薬の種類と薬剤耐性機構について学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	1. 微生物の形態・代謝について理解し説明できる。 2. 各種微生物の生物学的性状と発育条件、培養法について理解し説明できる。 3. 抗菌薬の種類、作用機序、耐性機序について理解し説明できる。 4. 細菌の遺伝と変異について理解し説明できる。		
関 連 科 目	微生物検査学実習、ウイルス検査学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(80%)、出席(20%)により成績を評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	事前に配布する資料に目を通しておく		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	微生物学総論	微生物学とは何か 細菌・真菌・ウイルスの形態や性質の違いについて解説する	VII章 臨床微生物学 1 分類 A 生物学的位置 B 分類
2	細菌の形態と構造	細菌の形態と構造、染色法について解説する。	2 形態、構造及び性状 A 細菌の構造と性状
3	発育と培養方法	細菌の発育、栄養要求性、培養方法について解説する。	4 発育と培養 A 細菌の発育
4	滅菌と消毒	滅菌および消毒の概念と方法、消毒剤の種類と使用方法について解説する。	6 滅菌と消毒 A 滅菌法 B 消毒法
5	感染と発症(1)	常在細菌叢と分布、感染経路、日和見感染について解説する。	8 感染と発症 A 常在細菌叢 B 微生物の病原因子
6	感染と発症(2)	食中毒、バイオハザード、院内感染・新興感染症について解説する。	G 食中毒 H バイオセーフティー
7	化学療法と薬剤感受性	抗菌薬の種類およびその作用機序、薬剤感受性試験、薬剤耐性菌の種類、薬剤耐性機序について解説する。	7 化学療法 A 抗菌薬の基本 B 抗菌薬耐性 C 薬剤耐性菌
8	遺伝と変異	細菌の遺伝子と変異、プラスミド、遺伝物質の伝達について解説する。	5 遺伝と変異 A 遺伝子
9	グラム陽性球菌	スタフィロкокカス属、ストレプトкокカス属などのグラム陽性球菌について解説する。	1 細菌 A 好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌
10	グラム陰性球菌および球桿菌	ナイセリア科を含むグラム陰性球菌および球桿菌について解説する。	B 好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌
12	グラム陰性通性嫌気性桿菌	腸内細菌科、ビブリオ科、パスツレラ科などのグラム陰性通性嫌気性桿菌について解説する	C 通性嫌気性グラム陰性桿菌
16	グラム陰性好気性桿菌	シュードモナス科、レジオネラ科などのグラム陰性好気性桿菌について解説する。	D 好気性グラム陰性桿菌
17	グラム陰性好気性桿菌	シュードモナス科、レジオネラ科などのグラム陰性好気性桿菌について解説する。	E 微好気性グラム陰性桿菌
18	グラム陰性好気性桿菌	ヘリコバクター属を含むグラム陰性微好気性らせん菌について解説する。	E 微好気性グラム陰性らせん菌

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
19	グラム陰性微好気性らせん菌	説する。 グラム陽性好気性桿菌の有芽胞・無芽胞菌について解説する	F 好気性グラム陽性有芽胞桿菌
20	グラム陽性好気性桿菌	マイコバクテリウム科を含む抗酸性桿菌について解説する。	H グラム陽性抗酸性桿菌
21	グラム陽性抗酸性桿菌	ボツリヌス菌や破傷風菌などの代表的な嫌気性菌について解説する。	I 嫌気性グラム陽性球菌
22	嫌気性菌	スピロヘータ科、クラミジア科など性感染症の原因菌を中心に解説する。	N スピロヘータ
23	性感染症	ウイルスの分類、種類、特徴について解説する。	Q クラミジア
24	ウイルス学総論	ヘルペス、B型肝炎ウイルスなどの代表的なDNAウイルスを中心に解説する。	3 ウイルス
25	DNAウイルス	インフルエンザウイルス、ムンプスウイルスなどの代表的なRNAウイルスを中心に解説する。	A DNAウイルス
26	RNAウイルス	真菌の分類、種類、特徴について解説する。	B RNAウイルス
27	真菌学総論	アスペルギルスやカンジダなどの日和見感染を起こす病原性真菌を中心に解説する。	2 真菌
28	病原性真菌		A 糸状菌
29			B 皮膚糸状菌
30			

教科書	岡田敦、他：臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版)
参考書	必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	機 器 分 析 化 学	単 位 認 定 者	石 垣 宏 尚
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義 13 コマ、実習 2 コマ	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	講義終了後
科 目 の 目 的	臨床現場で使用されている分析機器の原理・構造を学び、検査に必要な基本的な知識の習得を目的とする。また機器のボタン操作に終わることなく、得られたデータから正確な結果を導けるようになる。		
学 習 到 達 目 標	1. 共通器具の原理、操作法、使用上の注意点が説明できる。 2. 分析機器の原理、操作法、解析の注意点が説明できる。 3. 分離分析機器の臨床検査への応用を学ぶ。		
関 連 科 目	臨床検査学総論、医用電子工学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	出席 20%、定期試験 80%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とし、100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。また、授業回数の 3 分の 1 以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	序論	患者の病態を客観的に認識する手段としての機器分析の在り方や臨床検査領域において測定がいかにより自動化されているかを解説する。	X 医用工学概論-1-A,B
2	共通器具の原理・構造1	化学容量器、秤量装置等の基本的な機器の目的、使用上の注意を解説する。	X 医用工学概論-2-A,B
3	共通器具の原理・構造2	攪拌装置、恒温装置の特徴や利用法を解説する。	X 医用工学概論-2-E,F,
4	共通器具の原理・構造3	保冷装置、滅菌装置の特徴や利用法を解説する。	X 医用工学概論-2-G,H
5	顕微鏡	各種顕微鏡の原理、操作法を解説する。	X 医用工学概論-2-J
6	測光装置	分光光度計、炎光光度計、蛍光光度計の特徴、利用法を解説する。	X 医用工学概論-2-I
7	電気化学装置	pHメータ、血液ガス分析装置等の特徴、利用法を解説する。	X 医用工学概論-2-K
8	実習 1		
9	実習 2		
10	実習まとめ		
11	分離分析装置1	遠心分離装置、電気泳動装置の原理、特徴、利用法を解説する。	X 医用工学概論-2-C X 医用工学概論-2-D
12	分離分析装置2	各種クロマト装置、HPLC装置の原理、特徴、利用法を解説する。	X 医用工学概論-2-D
13	生化学	全自動生化学分析装置	IV 臨床化学-3-I
14	血液	自動血球計数装置	VI 臨床血液学-5-A
15	まとめ		

教 科 書	臨床検査学講座 検査機器総論(医試薬出版)
参 考 書	必要に応じて参考資料を配布する

授 業 科 目 名	臨 床 化 学 検 査 学	単 位 認 定 者	亀 子 光 明
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	教科書, 資料, PowerPoint などを用いて指導する。	オフィス・アワー	講義終了後, 事前の連絡により随時対応する(kameko@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	病態解析を行う上で基本となる分析化学を学び, 病態に關与する数多くの生体成分の測定方法を理解する。加えて臨床的意義, 生理的変動, 測定誤差要因についても学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種分析方法(吸光度分析・酵素反応を利用する方法・免疫反応を利用する方法・自動分析法)を理解する。 2. 各測定項目の測定原理を理解し応用力を高める。 3. 試料の取り扱いについて, 採取時間や保存方法がどのように分析に影響を与えるかを理解する。 4. 分析で得られる様々な測定結果が, 各疾患でどの様に変化するかを正しく説明できる。 5. 分析においてどのような因子が測定誤差となるかを理解する。 		
関 連 科 目	生化学, 精度管理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(80%)とミニテスト・出席日数(20%)により評価する。試験形態は筆記試験とする。		
準 備 学 習 の 内 容	講義スケジュールに合わせて, 予習・復習を行い理解しておく。必要に応じ, 講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1 2 3 4	総論 分析法の基礎1 分析法の基礎2 分析法の基礎3 分析法の基礎4	分析化学の基礎(物理化学的性質・単位・試薬) 分析化学の測定原理(吸光度計・蛍光法・発光法)採血 酵素反応を利用した定量分析法 微量分析方法についての基礎・免疫化学的測定方法 各種自動分析装置を用いた測定方法	IV章 臨床化学 2-A,B,C,D, 3-A-a~d 3- C-a, D-a~e 3-A-e~g, H-a~j 3-A-h, B-a~d, C-a 3-F-a, b, c, d, e, f, g 3-G-a~e, I-a~c
5 6	各論 糖質 1 糖質 2	血糖, 尿糖, ピルビン酸, 乳酸 グリコヘモグロビン, 1.5-アンドログリシトール	5-A-a,b, B-a~g, C-g 5-C-a~f
7 8 9	タンパク質 1 タンパク質 2 タンパク質 3	総蛋白, アルブミン, タンパク分画 膠質反応, 栄養アセスメントタンパク	7-A, B, C-a, b, 7-C-e,f 7-C-a, c, d, h
10 11 12	脂質 1 脂質 2 脂質 3	脂質の基礎(構造・機能・代謝), コレステロール, HDL, LDL, リン脂質, 遊離脂肪酸 ケトン体, 過酸化脂質, リポ蛋白, 胆汁酸, Lp(a)	6-A-a,b, 6-B-a~i 6-C-a, b, c, d, e, f 6-C-g, h, I, j, k, l, m
13 14 15	酵素 1 酵素 2 酵素 3	酵素の基礎・測定原理 AST, ALT, LD, CK, ALP, γ -GT, LAP ChE, AMY, リパーゼ, 酸ホスファターゼ, その他酵素各種, アイソザイム	11-A-a, b, c, B 11-C-a, b, c, d, e, f, g 11-A-h, i, j, k, B-d, e
16 17	非蛋白性窒素成分 1 非蛋白性窒素成分 2	非蛋白性窒素成分の基礎(構造・機能・意義) アンモニア, 尿素窒素, 尿酸, クレアチニン, クレアチン 腎機能の評価(GFR 推定式)	9-A-a,b, B 9-C-a, b, c, d
18 19	無機質1 無機質2	無機質の基礎(生理的意義・代謝) ナトリウム, カリウム, クロール, カルシウム 恒常性維持に必要な電解質の基礎知識	4-A-a,b,c 4-B-a~k
20	微量元素	測定意義, 中毒, 栄養評価に必要な微量金属の意義	13-A, B
21	生体色素	ヘム, ビリルビン	10-A-a~c, 10-B-a~d

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
22	酸・塩基平衡	血液ガス分析による酸・塩基平衡の解析	1-A-d, 3-G-e
23	ホルモン 1	ホルモンの概念とその機能	14-A, B
24	ホルモン 2	視床下部・下垂体前葉・下垂体後葉・甲状腺・副甲状腺	14-C-a~e
25	ホルモン 3	副腎皮質・副腎髄質・性・膵臓・消化管・ペプチド	14-C-f~k
26	血中薬物・毒物	血中濃度のモニタリング、毒物。乱用薬物	12-A, B, C-a, D
27	機能検査 1	機能検査の目的、各種機能検査(胆肝・腎)	16-A, B-a,b, C-a~c,
28	機能検査 2	各種機能検査(・膵・内分泌・消化管)	16-D-a,b E-a~f, F
29	栄養アセスメント	栄養評価に必要な生化学・免疫学的指標	1-A-a~e, 7-C-c, d, g, h, k
30	ドライケミストリ・POCT	ドライケミストリの原理・POCT を用いてのベッドサイド検査の測定意義と有用性の把握	3-I-d, J-a~c

教科書	臨床検査学講座第3版 臨床化学検査学 杉浦 修、他(医歯薬出版)
参考書	臨床検査法提要 改定第33版 金井正光 監修(金原出版)

授 業 科 目 名	血 液 検 査 学	単 位 認 定 者	小 河 原 は つ 江
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義形式	オ フィ ス ・ ア ロ ー	月 曜 : 16:30 ~ 19:00
科 目 の 目 的	血液の成分について、その性状・機能を理解し、それらの異常によって起こる疾患の病態およびその検査法を理解する。また、検査結果から病態を判断できるようにする。		
学 習 到 達 目 標	1)造血の仕組みを理解している。2)血液細胞の種類およびその働きを説明できる。3)止血・凝固機序とその検査法について説明できる。4)血液検査結果を評価することができる。		
関 連 科 目	生理学、解剖学、生化学、免疫学、遺伝と病気、遺伝子検査学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験(80%)及び毎回実施される小テストの成績(20%)		
準 備 学 習 の 内 容	復習を必ず行い、知識を整理しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	血液の基礎	血液の成分、性状、機能	VI章 臨床血液学
2	血球の産生と崩壊	血球の分化と成熟	1. 血液の基礎
3	同上	造血因子と造血器官(骨髄、リンパ組織、脾臓、他)	
4	同上	血球の個体発生、胎生期造血、血球回転について	
5	同上	赤血球の産生と崩壊、形態と機能、生化学	2. 血球
6	同上	白血球の産生と崩壊、形態と機能	
7	同上	血小板の産生と崩壊、形態と機能	
8	止血機構	血管と止血および血小板の機能	3. 止血機構
9	凝固・線溶系	血液凝固機序および凝固制御機構	
10	同上	線維素溶解(線溶)と分子マーカー	4. 凝固・線溶系
11	同上	出血性素因とその検査法、血栓症と抗血栓療法	
12	検体の採取と保存	採血法、抗凝固剤の使い方、検体処理および保存法について	
13	血球に関する検査	血球数算定法(赤血球、白血球、好酸球、血小板の視算法)	5. 血球に関する検査
14	同上	網赤血球数、Hb濃度、Ht値、赤血球指数について	
15	同上	溶血の検査(赤血球浸透圧抵抗、PNHのための溶血試験)	
		以上、前期	
	形態に関する検査	末梢血塗沫標本作成法および普通染色	6. 形態に関する検査
16	同上	骨髄検査法と特殊染色法	
17	同上	血液像・骨髄像観察法	
18	同上	血液細胞抗原検査(CD分類とフローサイトメトリ)	
19	血小板、凝固・線溶検査	血小板機能検査(出血時間、血小板粘着能・凝集能、他)	7. 血小板、凝固・線溶系検査
20	同上	PT,APTT,フィブリノゲン濃度、凝固因子活性定量、他	
21	同上	凝固・線溶阻止因子(AT,PC,PS、インヒビター、他)	
22	同上	分子マーカー(SFMC, TAT, PIC, F1+2, 他)	
23	血液検査結果の評価	赤血球系基準範囲及び形態異常	8. 赤血球系疾患の検査結果の評価
24	同上	貧血と多血症	9. 白血球系疾患の検査結果の評価
25	同上	白血球の基準範囲及び形態異常・機能異常	
26	同上	造血臓器の疾患(白血病、骨髄増殖性疾患、MDS)	
27	同上	M蛋白血症について	10. 造血器腫瘍系の検査結果の評価
28	同上	血小板の異常による出血性素因、血管の異常	
29	同上	凝固・線溶因子の異常、血栓性素因	11. 血栓止血検査結果の評価
30		以上、後期	

教 科 書	臨床検査学講座第3版 血液検査学 奈良信雄他6名著 医歯薬出版株式会社
参 考 書	1)血液細胞アトラス第5版 三輪史朗、渡辺陽之輔著 文光堂 2004 2)臨床に直結する血栓止血学 朝倉英策著 中外医学社 2013 3)異常値の出るメカニズム第6版 河合忠、他著 医学書院 2013

授 業 科 目 名	病 理 細 胞 検 査 学	単 位 認 定 者	廣 井 禎 之
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	通 年
単 位 数	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	病理学の医療における役割は病理診断(主に形態学的診断:肉眼及び顕微鏡標本)である。また、病理学的な組織変化の検索は様々な形態学的研究に応用されている。病理細胞検査学では、病理標本作製の方法論、及び細胞診断学を実際の症例を提示しながら、病理学各論と共に学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	1) 病理細胞検査学とは何かを理解できる、2) 病理細胞検査における臨床検査技師の役割を説明できる、3) 病理組織標本作製法に関する理論を理解できる、4) 組織化学とは何かを説明できる、5) <i>in situ</i> hybridization の概念を理解できる、6) 電子顕微鏡の利点を説明できる、7) 電子顕微鏡試料作製法を理解できる、8) 基本的なアーチファクトを理解し、病理細胞標本のクオリティーを評価できる		
関 連 科 目	病理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験による		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について復習を行い、理解をしておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1-2	病理細胞検査学序論	病理細胞検査学とは何か、病理細胞検査における臨床検査技師の役割、等	V 章 病理組織細胞学 形態検査学
3	病理組織標本作製技術学①	切り出し、マクロ病理学	1 病理組織標本作製法 A,B,C
4	病理組織標本作製技術学②	固定法、各種固定液の特徴①	5 病理解剖(剖検)A, B, C 1-D
5	病理組織標本作製技術学③	各種固定液の特徴②、脱灰法、包埋技術①	1-D, E, F
6	病理組織標本作製技術学④	包埋技術②	1-F
7	病理組織標本作製技術学⑤	薄切法、凍結切片作製法	1-G, H
8	病理組織標本作製技術学⑥	染色法総論、染色の基本的なメカニズム、色素の種類	2 病理組織染色法 A
9	病理組織標本作製技術学⑦	H&E 染色、弾性線維染色、膠原線維染色①	2-B, C, D
10	病理組織標本作製技術学⑧	膠原線維染色②、細網線維染色	2- C, E
11	病理組織標本作製技術学⑨	多糖類の染色、脂質の染色法	2-F, G
12	病理組織標本作製技術学	核酸の染色、アミロイドの染色、線維素の染色、生体内無機物の証明法	2-H, I, J, K,
13	病理組織標本作製技術学⑤	生体内色素の染色、内分泌細胞の染色法	2-L, M
14	病理組織標本作製技術学⑥	組織内病原体の染色法①	2-N
15	病理組織標本作製技術学⑦	組織内病原体の染色法②	
16	病理組織標本作製技術学⑧	神経系組織の染色法①	
17	病理組織標本作製技術学⑨	神経系の染色法②	2-O

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
18	細胞診断学①	細胞診断学概論	4 細胞学的検査法 A, B, C, D, E
19	細胞診断学②	腫瘍病理学	
20	細胞診断学③	細胞診標本作製技術	
21	細胞診断学④	細胞診断の実際①	
22	細胞診断学⑤	細胞診断の実際②	
23	組織化学、分子病理学①	組織化学総論、免疫組織化学①	2-P
24	組織化学、分子病理学②	免疫組織化学②	
25	組織化学、分子病理学③	分子病理学的技術 (<i>in situ</i> hybridization を中心に)	
26	電子顕微鏡標本作製技術学①	電子顕微鏡学概論と細胞の超微形態	3 電子顕微鏡標本作製法 A, B, C, D, E
27	電子顕微鏡標本作製技術学②	電子顕微鏡標本作製法	
28	アーチファクト(人工産物)	病理、細胞診標本のアーチファクト	
29	clinico-pathological conference (CPC)	clinico-pathological conference (CPC)	
30	病理細胞検査学、最近のトピックス	病理細胞検査学、最近のトピックス	

教科書	1)臨床検査技師講座 病理学/病理検査学:医歯薬出版 2)最新染色法のすべて:医歯薬出版
参考書	1)標準病理学:医学書院 2)病理組織アトラス:文光堂 3)病理組織の見方と鑑別診断:医歯薬出版

授 業 科 目 名	医 動 物 学	単 位 認 定 者	佐 藤 友 香
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(y-satou@paz.ac.jp)
科 目 の 目 的	医動物学(Medical zoology)は、人体の健康に病害を与える動物を対象とした学問分野である。それらの動物の分類、形態、生活史、病害、診断法、予防法などの解説を行い、臨床検査技師として必要な知識を身につけることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 寄生虫の分類、生活史、病害、診断法について説明できる。 2. 寄生虫の虫卵の鑑別ができる。 3. 人畜共通感染症について理解する。 4. 各寄生虫に適した検査法を理解する。		
関 連 科 目	解剖学・微生物検査学・免疫学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験 100%		
準 備 学 習 の 内 容	前回の授業の復習をしておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	医動物学総論	寄生虫学の意義や基礎知識について解説する	I 章 臨床検査総論 —形態検査学—
2	線虫類(1)	線虫類総論 回虫類、アニサキスなど	1 寄生虫学
3	線虫類(2)	鉤虫類、広東住血線虫など	A 寄生虫の分布と疫学
4	線虫類(3)	糸状虫類、鞭虫など	B 寄生虫の形態と生活
5	吸虫類(1)	吸虫類総論 肝吸虫、横川吸虫など	C 病害と症状
6	吸虫類(2)	肺吸虫類、肝蛭類など	D 線虫類
7	吸虫類(3)	住血吸虫類など	E 吸虫類
8	条虫類(1)	条虫類総論 裂頭条虫類など	F 条虫類
9	条虫類(2)	孤虫症など	G 原虫類
10	条虫類(3)	無鉤条虫、有鉤条虫など	H 衛生動物
11	原虫類(1)	原虫類総論 アメーバ類、ランブル鞭毛虫類など	2 寄生虫検査法
12	原虫類(2)	トリパノソーマ類、リーシュマニア類など	A 検査材料の採取と 注意事項
13	原虫類(3)	トキソプラズマ、マラリア原虫など	B 糞便
14	衛生動物(1)	衛生動物総論 ダニ類、蚊類など	C 血液
15	衛生動物(2)	ノミ類、シラミ類など	D その他 寄生虫検査の評価 A 検査結果の評価

教 科 書	「医動物学」 吉田幸雄, 有菌直樹 (南山堂)2013年発行
参 考 書	「臨床検査学講座 医動物学」 藤田紘一郎, 平山謙二 (医歯薬出版株式会社)2010年発行 「図解人体寄生虫学」第8版 吉田幸雄 (南山堂)2011年発行

授 業 科 目 名	医 動 物 学 実 習	単 位 認 定 者	佐 藤 友 香
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 (2 2 . 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	実習、講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(y-satou@paz.ac.jp)
科 目 の 目 的	寄生虫の診断において重要なのは、糞便などの検体材料から原因となる寄生虫の検出を行い、同定することである。実際に虫卵検出法や標本観察を実施し、検査技術の習得を目的とする。実習を通して形態学的特徴、検査法などについての理解を深める。		
学 習 到 達 目 標	1. 寄生虫の保存法、検出法、標本作成法などの基本的な検査技術の習得 2. 虫卵の形態的特徴を理解し、鑑別できる 3. 寄生虫、衛生動物の検出法を理解する		
関 連 科 目	解剖学・微生物検査学・免疫学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	レポート(40%)、質疑応答(60%)を総合し、評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	1年次に学習した医動物学の復習を行っておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1 2	実習オリエンテーション	寄生虫検査法の概論を説明する	I 章 臨床検査総論 —形態検査学—
3 4	実習講義	実習方法の説明とその注意点 各種検査法を説明する	1 寄生虫学 A 寄生虫の分布と疫学 B 寄生虫の形態と生活 C 病害と症状 D 線虫類 E 吸虫類 F 条虫類 G 原虫類 H 衛生動物
5 6	顕微鏡実習(1)	回虫、蟯虫などの標本の鏡検、スケッチを行う	
7 8	顕微鏡実習(2)	糸状虫、裂頭条虫の標本の鏡検、スケッチを行う	
9 10	実習 試薬作成	実習で使用する試薬の作成を行う	
11 12	虫卵観察 (1)	直接塗抹法の基本(操作)技術を習得する	
13 14	虫卵観察 (2)	遠心沈殿法(ホルマリン・エーテル法)の基本(操作)技術を習得する	
15 16	虫卵観察 (3)	遠心沈殿法(AMSⅢ法)の基本(操作)技術を習得する	2 寄生虫検査法 A 検査材料の採取と 注意事項
17 18	虫卵観察 (4)	浮遊集卵法の基本(操作)技術を習得する	B 糞便 C 血液 D その他
19 20	サバの解剖 (5)	サバに寄生したアニサキスを探し、観察する	
21 22	顕微鏡実習(3)	マダニ、旋毛虫などの標本の鏡検、スケッチを行う	寄生虫検査の評価 A 検査結果の評価
23	未知検体	過去の実習で行った方法を用いて、未知検体中の虫卵を同定する	

教 科 書	「臨床検査技術学 医動物」 竹内勤 (医学書院)2010年発行、実習書
参 考 書	「医動物学」 吉田幸雄, 有菌直樹 (南山堂)2013年発行 「図解人体寄生虫学」 吉田幸雄 (南山堂)2011年発行

授 業 科 目 名	生 殖 医 療 技 術 学	単 位 認 定 者	荒 木 康 久
対 象 学 年	第 2 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義 7 コマ、実技 8 コマ(パース大学 内で実施します)	オ フ ィ ス ・ ア ロ ー	授業の前後
科 目 の 目 的	生殖医療の概念と実際に行われている不妊治療について技師の習得すべき基礎学問。これにより、臨床で広く応用されている不妊治療に関する臨床検査技師が関わる技術を理解する。		
学 習 到 達 目 標	配偶子の発生、受精のメカニズムの基礎知識の習得。高度生殖医療で用いられている技術の基礎知識の習得(精子カウント、卵子の観察(マウス卵)、媒精、胚発生の観察、ピペット操作、顕微鏡操作の基礎など)		
関 連 科 目	生理学、一部の解剖学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義参加度(80%) {毎回、前講義のクイズ形式で問題だします。その総合点を加味します} 期末試験(20%)。		
準 備 学 習 の 内 容	講義が開始されれば、学生さんにはその都度、復習の要点と次回の予習項目を伝えます。その都度、上記の評価すべき簡単な筆記を課します。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	生殖医療概論 不妊とは？体外受精とは？	検査技師が学ばなければならない生殖医療技術の概論 生殖医療に関わる領域と専門用語の解説 不妊症を克服するに役立った技術の変遷	
2	配偶子の発生学、受精の仕組み	配偶子の起源および発生、受精の仕組み、細胞内で展開される両配偶子の分子細胞学的メカニズム	
3	胚発生学	受精後の胚発生のメカニズム、染色体の基礎知識	
4	着床、内分泌	着床のメカニズム、中枢一下垂体一性腺の関連した内分泌の仕組み	
5	生殖医療に関する検査	臨床に応用されている生殖医療技術の実際	
6	体外受精に関する実際の技術	体外受精が臨床で用いられている実際の様子	
7	不妊治療と技術者との関わり	ラボの管理、患者さんとの関わり、機器材の管理、データのまとめ方	
8-9	2コマを組み合わせて、実技(1)	精子処理、カウント、顕微鏡操作、マウス卵子を用いた受精操作	
10-11	2コマを組み合わせて、実技(2)	マウス卵子を用いた顕微授精の実際	
12-13	2コマを組み合わせて、実技(3)	マウス卵を用いた染色体検査	
14-15	2コマを組み合わせて、総合討論	学生の総合討論会、生殖医療技術学を学んだ感想・反省会	

教 科 書	プリントを用意して講義を考えていますが、内容を整理し、知識を深めるために、下記の書を使います。
参 考 書	「エンブリオロジストのための ART 必須ラボマニュアル」 監修:鈴木秋悦・福田愛作 編集:荒木康久・佐藤和文 医歯薬出版

